

西 海 渕 遺 跡

第1次発掘調査報告書

財団法人

山形県埋蔵文化財センター



6-2007-11-01

1991

山 形 県
山形県教育委員会
研究課

西海渕遺跡
第1次発掘調査報告書

平成3年3月

山形県
山形県教育委員会



空中写真



空中写真（南から）

巻頭図版2



ST253 (東から)

巻頭図版3



F・G-13区 墓塚郡 (東から)



ST730 (南西から)



手形付土製品





縄文土器集合写真



ST700 EU12



ST703 EU17

序

本報告書は、山形県教育委員会が平成2年度に実施した県営は場整備事業「富並地区」にかかる西海洞遺跡の発掘調査の成果をまとめたものであります。

この調査は昨年の川口遺跡に引き続いて行われた富並地区関係の第三年次分として実施されたものでありますが、これまでとかく不鮮明であった当該地域における縄文時代中期の集落や遺物の内容理解にとっては貴重な資料を提供するものと期待されるところです。

近年の急速で広範になされる諸開発事業の進展は、埋蔵文化財の保存や保護とのかかわりにおいても困難な問題を多く生み出すところとなっておりますが、「県民福祉の向上」、「心広くたくましい県民の育成」とする基本的な立場から調整を行い、今後とも埋蔵文化財の保護とその活用を図ってまいる所存です。

最後になりましたが、本調査にご協力いただいた村山平野土地改良事務所・大高根土地改良区・村市教育委員会および調査に従事された地元の方々に対して心より感謝の意を表すとともに、本書が地域の歴史を解明する上で基礎的な資料として活用していただければ幸いと存じます。

平成3年3月

山形県教育委員会

教育長 木 場 清 耕

例　　言

1 本報告書は山形県教育委員会が山形県農林水産部の委託を受けて平成2年度に実施した「県営ほ場整備事業富並地区」に係る西海湖遺跡の発掘調査報告書である。

2 遺跡の所在地・調査期間・調査体制は以下の通りである。

西海湖遺跡 (CMYSB) 遺跡番号617 (山形県遺跡地図)

所 在 地 山形県村山市大字富並字西海湖

調 査 期 間 平成2年4月1日～平成3年3月31日

現 地 調 査 平成2年4月16日～平成2年8月24日（延べ90日）

調 査 主 体 山形県教育委員会

調 査 担 当 山形県埋蔵文化財緊急調査団

調査担当者 事務局長補佐 佐々木洋治

調査班長 阿部 明彦・佐藤 正俊

主任調査員 黒坂 雅人

調査員 黒坂 広美・真壁 建

事務局事務局長 土門 紹徳

事務局長補佐 斎藤 久子

庶務班長 佐藤 庄一・野尻 優

事務局員 主任事務員 新間 紘子・賀間 秀男・永井 健朗・法江 正義

3 本書の作成は阿部明彦、黒坂雅人、黒坂広美、真壁 建が担当し、本文の執筆は阿部と黒坂が協議して分担した。

4 現地調査に当たっては村山平野土地改良事務所をはじめとして大高根土地改良区、村山市教育委員会の各機関および株式会社黒田組他の各位より御協力をいただいた。ここに記して感謝の意を表したい。

5 調査記録および出土遺物は山形県教育委員会が一括して保管している。

凡　例

1 本書で使用した遺構と遺物の分類記号は下記の通りである。

ST：住居跡 SK：土壙 EP：住居関連柱穴 EL：炉跡

RP：土器・土製品 RQ：石器・石製品

2 報告書の執筆基準は下記の通りである。

(1) 遺構平面図はかの方位は磁北を示している。

(2) 遺構の実測図はそれぞれの大きさを考慮して1/40、1/50、1/60、1/80、1/250、1/300などで採録し、各々にスケールを付した。

(3) 土層注記におけるローマ数字は表土や包含層などの基本層序を表し、算用数字は遺構内堆積土の区分に用いた。

(4) 遺物の実測図・拓影図は1/6、1/4、1/3、1/2、1/1を基本として採録し、各々にスケールを付した。

(5) 遺構・遺物の分布図は主として焼土範囲を表している。

3 本書で取り上げた遺物は住居跡、土壙などの遺構に関連した物を中心としたが、一部の物は包含層から出土したものも採録している。また、実測図中のRPないしRQ番号は現地で付された登録番号で、観察表中でも検索できるように配慮している。

目　次

I 調査の経緯	1	3 土壙	43
II 遺跡の立地と環境		4 中央広場	43
1 地理的環境	2	V 出土した遺物	
2 歴史的環境	2	1 純文土器	63
III 調査の概要		2 土製品	63
1 調査の経緯	4	3 その他の土器	63
2 基本層序	4	4 石器	64
IV 検出された遺構		5 石製品	64
1 壁穴住居跡	10	VI まとめ	102
2 墓壙	43		

挿図目次

第1図 遺跡位図	第18図 ST250住居跡
第2図 調査概要図	第19図 ST251住居跡
第3図 土層柱状図	第20図 ST252住居跡
第4図 遺構分布図	第21図 ST252・253住居跡
第5図 遺物分布図(1)	第22図 ST253住居跡
第6図 遺物分布図(2)	第23図 ST254住居跡
第7図 遺物分布図(3)	第24図 ST257住居跡
第8図 ST1住居跡	第25図 ST594住居跡
第9図 ST2・290・300住居跡(1)	第26図 ST666・678・711住居跡
第10図 ST2・290・300住居跡(2)	第27図 ST685・693・694・721住居跡
第11図 ST27・329住居跡	第28図 ST692住居跡
第12図 ST55住居跡	第29図 ST700住居跡(1)
第13図 ST49住居跡	第30図 ST700住居跡(2)
第14図 ST214住居跡	第31図 ST701住居跡
第15図 ST215住居跡	第32図 ST702住居跡(1)
第16図 ST230住居跡	第33図 ST702住居跡(2)
第17図 ST234住居跡	第34図 ST703住居跡

図版目次

- 第35図 ST730住居跡（1）
第36図 ST730住居跡（2）
第37図 墓塚群配置図
第38図 墓塚群（1）
第39図 墓塚群（2）
第40図 墓塚群（3）
第41図 墓塚群（4）
第42図 墓塚群（5）
第43図 土壙（1）
第44図 土壙（2）
第45図 土壙（3）
第46図 土壙（4）
第47図 土壙（5）
第48図 土壙（6）
第49図 土壙（7）
第50図 土壙（8）
第51図 土壙（9）
第52図 土壙（10）
第53図 石円炉集成図（1）
第54図 石円炉集成図（2）
第55図 土器実測図（1）
第56図 土器実測図（2）
第57図 土器実測図（3）
第58図 土器実測図（4）
第59図 土器実測図（5）
第60図 土器実測図（6）
第61図 土器実測図（7）
第62図 土器実測図（8）
第63図 土器実測図（9）
第64図 土器実測図（10）
第65図 土器実測図（11）
第66図 土製品実測図（1）
第67図 土製品実測図（2）
第68図 土製品実測図（3）
第69図 土製品実測図（4）
第70図 土製品実測図（5）
第71図 土器展開拓形図（1）
第72図 土器展開拓形図（2）
第73図 土器展開拓形図（3）
第74図 石器実測図（1）
第75図 石器実測図（2）
第76図 石器実測図（3）
第77図 石器実測図（4）
第78図 石器実測図（5）
第79図 石器実測図（6）
第80図 石器実測図（7）
第81図 石器実測図（8）
第82図 石器実測図（9）
第83図 石器実測図（10）
第84図 石器実測図（11）
第85図 石器実測図（12）
第86図 石器実測図（13）
第87図 石器・石製品実測図
第88図 石製品実測図
第89図 土器集成分類図（1）
第90図 土器集成分類図（2）
第91図 土器集成分類図（3）
卷頭図版1 調査区全景（空中写真）
卷頭図版2 大型住居跡ST253・730
卷頭図版3 墓塚群・手形付土製品
卷頭図版4 純文土器集合写真
図版1 遺跡遠景他
図版2 A区試掘作業状況他
図版3 RP 8～14出土状況他
図版4 RP 7出土状況他
図版5 A区面整理作業状況他
図版6 A区J・16作業状況他
図版7 B区全景他
図版8 B区北近景他
図版9 調査区全景
図版10 A・K北東部完掘状況他
図版11 B区完掘状況他
図版12 A区I～L～14～16区完掘状況他
図版13 A区K～M～14～15区完掘状況他
図版14 A区K～M～9～11区他
図版15 A区G～J～7～9区他
図版16 B区D・E～10～13区他
図版17 B区C～E～6～8区他
図版18 A区I～L～13～15区上塚群他
図版19 A区F～II～13～15区上塚群他
図版20 A区H・I～9～11区土壤群他
図版21 A区F～H～10～14区墓塚他
図版22 ST49完掘状況他
図版23 ST130EL7035完掘状況他
図版24 ST55完掘状況他
図版25 ST55EU1～3出土状況他
図版26 ST251調査状況他
図版27 ST250完掘状況他
図版28 ST230完掘状況他
図版29 ST257完掘状況他
図版30 ST254完掘状況他
図版31 ST702調査状況他
図版32 ST685検出状況他
図版33 ST685EL7046完掘状況他
図版34 ST730完掘状況他
図版35 ST696調査状況他
図版36 ST711調査状況他
図版37 ST594完掘状況他
図版38 ST2完掘状況他
図版39 G・H・H-11区墓塚群検出状況他
図版40 F・G・G-11～13区墓塚群他
図版41 SM779調査状況他
図版42 J-12・13区土壤群調査状況他
図版43 SK54土層断面他
図版44 SK305土層断面他
図版45 SK627土層断面他
図版46 出土土器（1）
図版47 出土土器（2）
図版48 出土土器（3）
図版49 出土土器（4）
図版50 出土土器（5）
図版51 出土土器（6）
図版52 出土土器（7）
図版53 出土土器（8）
図版54 出土土器（9）
図版55 出土土器（10）
図版56 出土土器（11）

図版57 出土土器 (12)

図版58 出土土器 (13)

図版59 出土土器 (14)

図版60 出土土器 (15)

図版61 出土土器 (16)

図版62 出土土器 (17)

図版63 出土土器 (18)

図版64 出土土器 (19)

図版65 出土土器 (20)

図版66 出土土器 (21)

図版67 出土土器 (22)

図版68 出土土器 (23) 土製品・中世陶器

図版69 土製品 (1) 土偶

図版70 土製品 (2) 土偶

図版71 土製品 (3) 三角形土製品・

煙管形土製品

図版72 土製品 (4) 三角形土製品・

土製円盤

図版73 土製品 (5)・石器 (1)

有孔土器・注口土器・石蹴

図版74 石器 (2) 石錐・石槍・砲状石器

図版75 石器 (3) 石匙

図版76 石器 (4) 石匙・打製石斧

図版77 石器 (5) 搔器・削器

図版78 石器 (6) 磨製石斧

図版79 石器 (7) 磨製石斧・凹石

図版80 石器 (8) 磨石・石皿

図版81 石器 (9) 石皿

図版82 石器 (10) 石皿

図版83 石器 (11) 石皿

図版84 石器 (12) 石皿・砾石

図版85 石器 (13) 石皿・石製品 (1)

鳥帽子形石製品

図版86 石製品 (2) 石棒

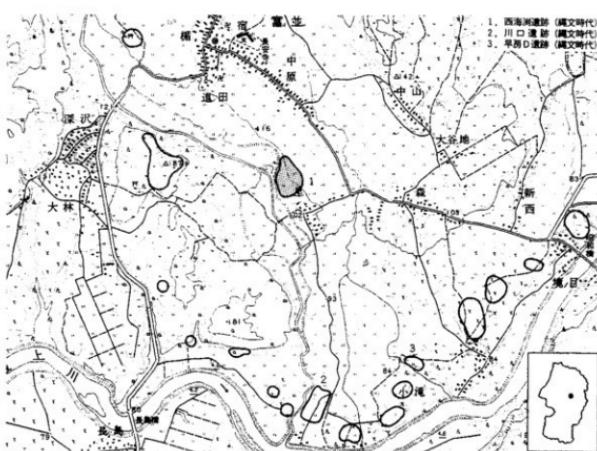
図版87 石製品 (3) 石棒

図版88 石製品 (4) 石棒

I 調査の経緯

山形県村山市の北西部に位置する富並地区とその周辺には、山形県を代表する縄文時代の集落遺跡が点在する。山内の「ガンジャ遺跡」や「岩倉遺跡」は早期中葉と中期後葉、「三ヶノ瀬遺跡」は早期後葉、「古道遺跡」「中山遺跡」は中期中葉から後葉、大高根中学校南側の「宮の前遺跡」は後期後葉から晚期前葉、また、昨年度調査された富並川と最上川合流点近くに所在する「川口遺跡」は後期後葉から中葉のそれぞれ重要な遺跡として早くから注目されてきた。

一方、これらの遺跡群は、近年の継続的な県営圃場整備事業等の進展に伴って、開発の波を直接的に、さらには広範囲に受けることとなった。山形県教育委員会では、こうした開発事業に先立つて、記録による保存を図る目的から、これまでに旱房D遺跡や川口遺跡の緊急発掘調査を実施してきた。今回の西海岸遺跡の調査は、平成2年度県営圃場整備事業（富並地区）に係る緊急発掘調査である。調査に先立ち、平成元年4月に行なった遺跡詳細分布調査等をもとにして関係機関との間で施工方法の検討を含めた調整が重ねられた。その結果やむを得ず破壊を受けると判断された部分について記録保存を目的とした緊急発掘調査を実施することになった。



第1図 遺跡位置図 (S = 1 : 25,000)

附表目次

表-1 土器・土製品観察表 (1)

表-2 土器・土製品観察表 (2)

表-3 土器・土製品観察表 (3)

II 遺跡の立地と環境

1 地理的環境

西海潮遺跡は、村山市富並地区のはば中央に位置し、葉山連峰に源を発する富並川が、東から南へ流れを変える地点に形成された河岸段丘上に立地する。富並川の流れに沿って北から南へ緩く傾斜し、標高は遺跡の北で109m、南で107m前後を測る。現在の地目は水田、畑となっている。遺跡範囲は、東西200m、南北230mの規模を持つ。

この地域の環境は、東の奥羽山脈、西の出羽丘陵の存在により特徴づけられる。冬の北西季節風は、月山および葉山連峰によりさえぎられ、また、奥羽山脈はその海拔高度の縦断面に高低差があるため、ところにより気候区界の効果を異なるものの、梅雨季の「ヤマセ」に対する障壁となる。さらに、日照も比較的多いことから、東北地方としては温暖な気候となっており、さくらんぼ等の果樹栽培に有利な条件をもたらしている。しかし、冬の気候は厳しく、盆地特有の冷え込みと日本海からの湿った空気が奥羽山脈にぶつかり、多量の雪を降らせるため、平地としては県内有数の豪雪地帯である。

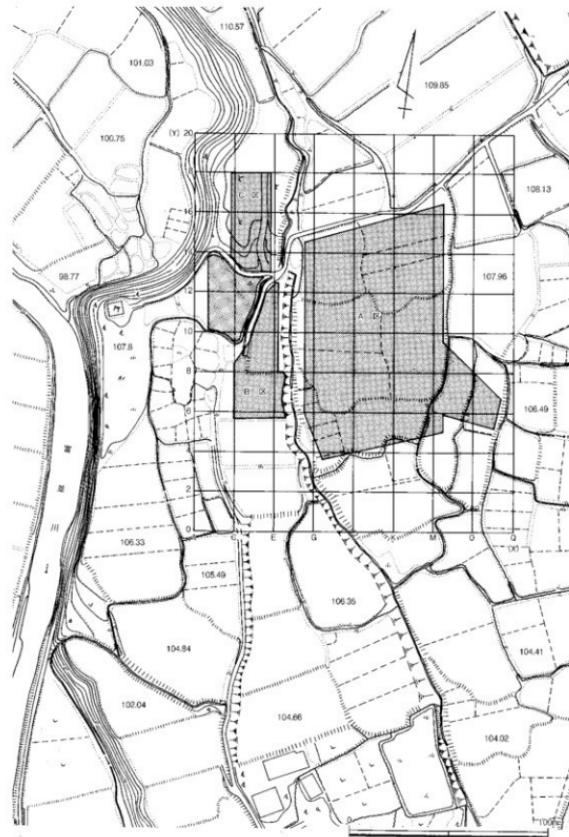
2 歴史的環境

この地域に分布する縄文時代の遺跡は、主として長島橋から昭和橋の間の最上川左岸の段丘上、富並川左岸の河岸段丘、大高根南麓の山裾部などにまとまる傾向を見ることができ、最上川に沿って点々と分布する特徴的なありかたや、富並川をよりどころとして、規模の大きな集落を、地点を遷しながら、連続と形成する様子などが注目される。これらは、ひとつには集落立地と生業との関わり、もうひとつには集団の領域と社会組織といった内容までにもせまり得る稀有な事例と評価できる。

すなわち、「縄文のムラ」ともいえるひとつの地域社会や、組織の具体像が浮かび上がるのではないかと期待される。

縄文時代の早・前期には山内遺跡をはじめとする富並川上流部の山間丘陵地や最上川左岸の段丘に、中期は西海潮遺跡や古道遺跡、中山遺跡を中心とする富並川中下流域や山麓に、後期は最上川と富並川合流地点近くに位置する川口遺跡、晚期は扇状地形の扇頂部付近で富並川左岸に位置する官の前遺跡へと立地的な変遷がたどれるようであり、いずれもその集落規模の点では、地域の拠点的集落と考えてよい（第1図）。

今後、これらの遺跡群の調査が進めば、より具体的に内容が明確になると期待されるが、これまで挙げた遺跡群の変遷が連線と途切れることがないのかどうか、あるいは一次的な離散状態を経て集合する形態をとったのかどうか、その他生業に関わる季節的な棲み分けと集落の関係性など興味ある課題が多い。



第2図 調査概要図

III 調査の概要

1 調査の経過

現地調査は、雪解けを待って4月16日 начали. まず圃場整備の計画畦畔ラインをY軸の基準として遺跡全体を包括する10m×10mのグリッドを設定し、杭打ち作業を行う。次に、調査対象地区の遺構および遺物の分布状況、遺構確認面までの深さなど全体的な様子を探る目的で、グリッドの軸線にあわせた幅1mのトレンチを東西・南北に8箇所設定し、人力による掘り下げを行った。その結果をもとに遺構・遺物の分布密度の高い約12,000m²を調査区として設定、重機による掘り下げを実施した。その後手掘りによる面整理および遺構検出作業を実施、検出した遺構の精査と記録作業を進めた。

調査は便宜上、東側をA区、西側をB区と呼称している(第2図)。このうち工区の関係から着工を急ぐA区北東部約2,000m²と地表面の乾燥が著しいB区南半部分調査を先行して実施した。なお調査開始後の事業者側との調整で、B区北の桑畠部分を畑地対応、大規模な捨て場の存在が予想されるB区中央の低湿地部分を盛土対応として、保存が図られることとなった。A区北東部は7月23日に事業者側へ引き渡し、他の区域についても8月24日までに調査を終了した。

2 基本層序

西海浜遺跡の基本的な土層の堆積状況は、緩傾斜する地形や土地利用ため、各層の厚さに地点による差があるので、概ね第3図に示したとおりである。

Ia層 暗褐色シルト 水田の耕作土。層厚10~15cmで調査区全域に観察された。

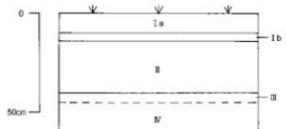
Ib層 暗赤褐色細砂質シルト 水田の基礎層。酸化した鉄分を多く含み硬くしまっている。層厚5~10cmで調査区全域にわたり安定して堆積している。

II層 黒褐色細砂質シルト いわゆるクロボク土層である。A区中央付近では、20~30cmの堆積であるが、南に向かって層厚が増し、南端付近では70cm前後に達する。多量の遺物を包含する。

III層 暗黄褐色細砂 II層とIV層間

の漸移層。層厚5~10cmで全域に分布する。

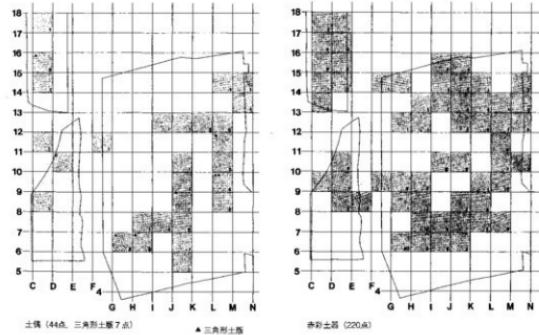
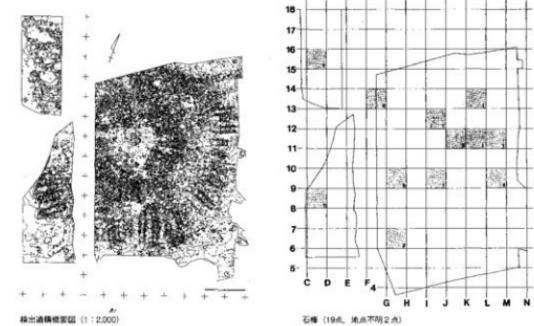
IV層 黄褐色細砂 遺構確認面。風化した凝灰岩の小角礫を多く含み、硬くしまるが、A区南辺および東辺域では均質となり、比較的軟らかい。



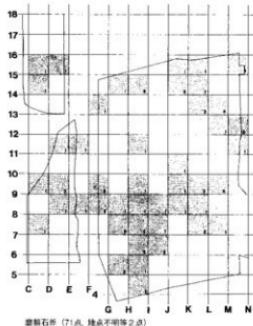
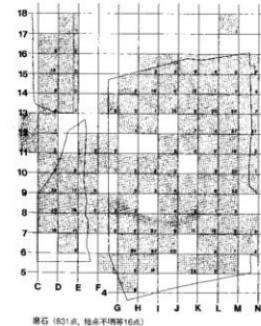
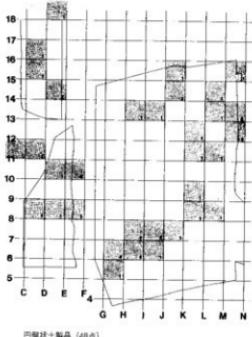
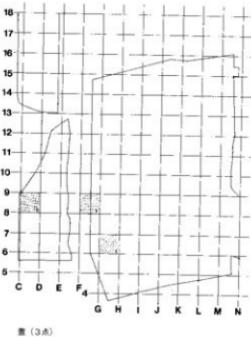
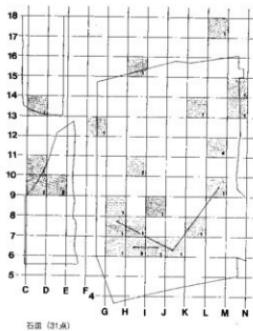
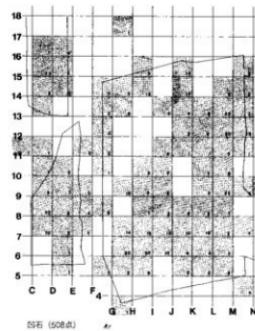
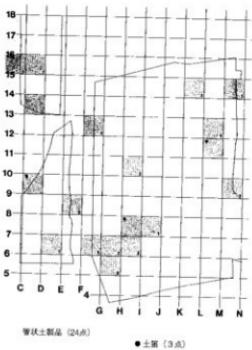
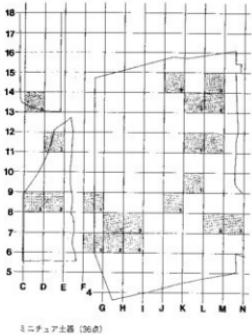
第3図 土層柱状図



第4図 遺構分布図



第5図 遺物分布図 (1)



第6図 遺物分布図(2)

第7図 遺物分布図(3)

IV 検出された遺構

今回の調査で検出された遺構は、長方形プランの大型整穴住居跡25棟、円形、楕円形の整穴住居跡25棟以上、大型のフラスコ状、ビーカー状土壙を含む無数の土壙・ピット群、墓壙と考えられる小判形を呈する土壙約150基等である。これら遺構の分布状況は、直径約140mの同心円状を呈し、中央の広場を中心として、墓壙群、土壙群、住居群の三重構造が看取される。

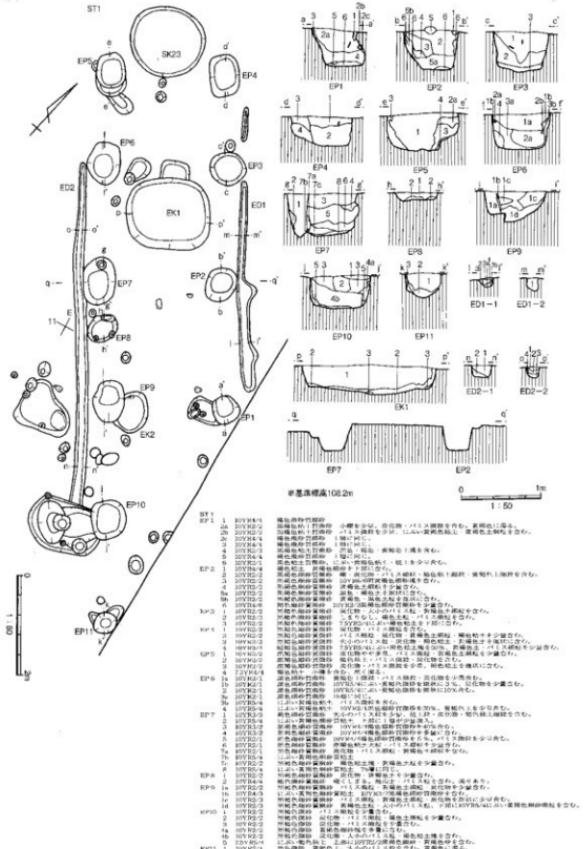
1 整穴住居跡（第8図～第36図）

住居跡は、内径約80m、外径約120mの環状の範囲内に約50棟が集中的に分布する。その構成の主体は、長軸10～15m、幅3.5～4mの長方形プランをもつ大型住居であり、基本的には整穴式と考えられる。主柱穴は、2本1対で5対程度が等間隔に並ぶものが一般的である。柱穴は長径60～100cm、短径40～80cmの楕円形を呈し、深さ60～120cmの規模を持つ。これらの住居跡には周溝が取り付き、更に間に仕切り的な横溝が存在するものも検出された（第19図～第22図）。床面中央部には3～4箇所に地炉床を有するが、「口」字形あるいは楕円形の石閉炉を持つものも検出されている（第19図～第24図）。

個々のプラン上での建て替え、増築等は頻繁に認められるものの、大型住居同士の重複は稀である。これらは広場を中心とする同心円内に放射状に配置される。大型住居は、出土遺物からその大半が木大8b式期前半から中項に當されたものと考えられ、配置状況からも相当数が同時存在していた可能性が高い。

この区域内では、直径6～7mの円形プランを持つ整穴住居跡も検出された（第9図・第12図・第15図・第26図・第27図・第35図）。これらは8～10箇所の壁柱穴と、周溝を構造上の特徴とする。主柱穴は1棟4～5箇所程度と考えられる。床面の隅に寄って長径1.2～2m、短径1～1.5mの石閉炉をもつ。炉から周壁に向かって袖石が取り付き、炉内基底部は土器敷となる馬蹄形を呈するものがある（第35図）。複式炉の前段階に位置するものと思われる。円形住居は長方形の大型住居を切って構築されており、出土した土器も大木8b式後半以降が主体となる。直径約3mの小型円形、長径約6mの楕円形整穴住居跡も確認されている。これらの中には土壙群の分布域に構築されたものもみられ（第25図）、時期的には木大9式期前半まで降る。

住居群の外域には、大型の土壙とピットが散見されるに過ぎないが、ピットの中には、住居群の放射状の規制に従って等間隔に並ぶものがある。ほとんどが調査区外となるため判然としないものの、住居群域の外側に掘立柱風の建物跡群が存在する可能性がある。これらを含めた西海測遺跡の範囲は、直径約140mの円内にはほおさまると考えられる。

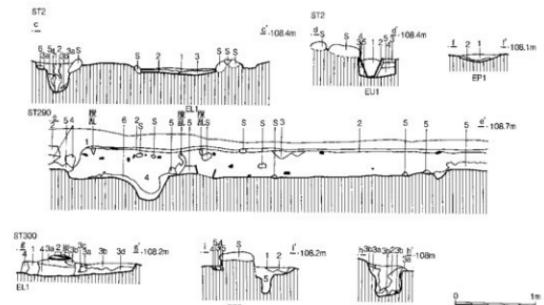


第8図 ST 1 住居跡



第9図 ST2・290・300住居跡（1）

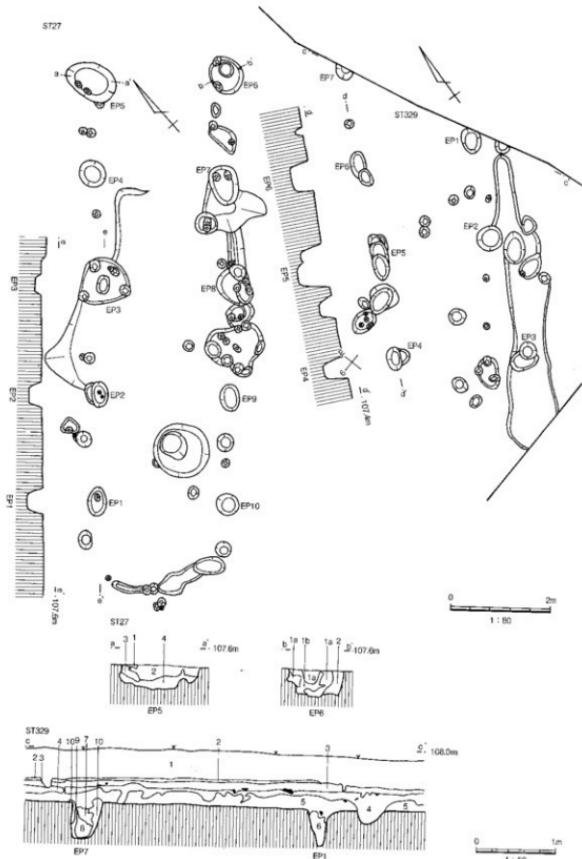
- 12 -



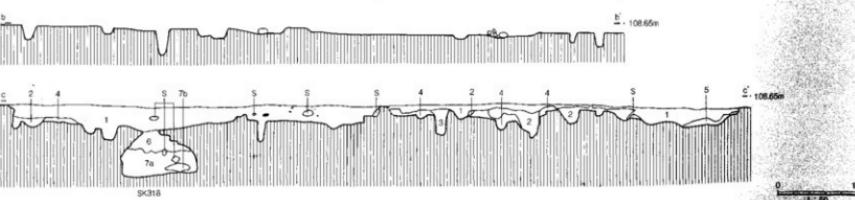
第10図 ST2・290・300住居跡（2）

- 13 -

- ST2
 EL.1 1 10792/1 黒色透明白質物。炭化物を多量に含む。
 2 10792/2 黑褐色透明白質物。炭化物を少量含む。
 3 10793/3 緑褐色透明白質物。
 EL.2 1 10792/2 黑褐色透明白質物。バジス標柱を少量含む。
 2 10792/3 黑褐色透明白質物。バジスを含む。
 3a 10792/2 黑褐色透明白質物。バジスを含む。
 3b 10796/6 陶器織物紋石。バジス。
 4 10792/3 黑褐色透明白質物。バジスを含む。
 5 10792/3 黑褐色透明白質物。バジス標柱を少量含む。
 6 10795/6 黑褐色透明白質物。
 EL.3 1 10792/3 黑褐色透明白質物。バジス、炭化物を多量含む。
 2 10795/6 黑褐色透明白質物。バジス、炭化物を少量含む。
 3 10796/6 黑褐色透明白質物。バジス、炭化物を多量含む。
 4 10794/4 黑褐色透明白質物。バジス、炭化物を含む。
 5 10793/6 黑褐色透明白質物。バジス、炭化物を多量含む。
- ST290
 c-e
 EL.1 1 10794/3 にごり青褐色透明白質物。透明白質物。
 2 10794/3 黑褐色透明白質物。透明白質物。
 3 10792/2 黑褐色透明白質物。透明白質物。
 4 10792/2 黑褐色透明白質物。透明白質物。
 5 10794/3 黑褐色透明白質物。透明白質物。
 6 10794/3 黑褐色透明白質物。透明白質物。
 EP.1 1 10793/2 黑褐色透明白質物。炭化物を多量含む。
 2 10794/4 黑褐色透明白質物。炭化物を含む。
- ST300
 EL.1 1 10792/3 出隨色透明白質物。炭化物。透明白質物。透明白質物。
 2 10796/6 透明白質物。炭化物。透明白質物。
 3 10792/2 黑褐色透明白質物。透明白質物。
 3b 10792/1 黑褐色透明白質物。透明白質物。
 3c 10792/2 黑褐色透明白質物。透明白質物。
 3d 10792/2 黑褐色透明白質物。透明白質物。
 4 10792/3 黑褐色透明白質物。透明白質物。バジス標柱を多量に含む。
 EP.2 1 10792/2 黑褐色透明白質物。透明白質物。バジス標柱を含む。
 2 10792/2 黑褐色透明白質物。透明白質物。バジス標柱を含む。
 3 10793/3 黑褐色透明白質物。透明白質物。バジス標柱を含む。
 4 10793/3 黑褐色透明白質物。透明白質物。バジス標柱を含む。
 EP.3 1 10793/4 陶器織物紋石。バジス。
 2 10793/4 陶器織物紋石。バジス。
 3 10793/5 陶器織物紋石。バジス。
 4 10793/4 陶器織物紋石。バジス。
 EP.4 1 10793/4 陶器織物紋石。バジス。
 2 10793/4 陶器織物紋石。バジス。
 3 10793/5 陶器織物紋石。バジス。
 4 10793/4 陶器織物紋石。バジス。

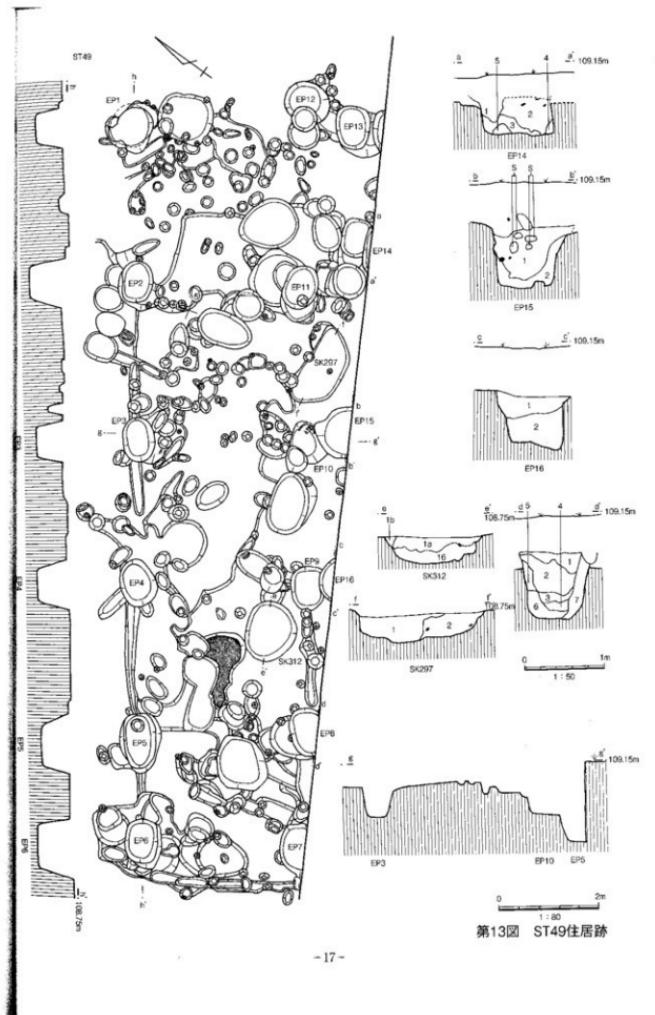


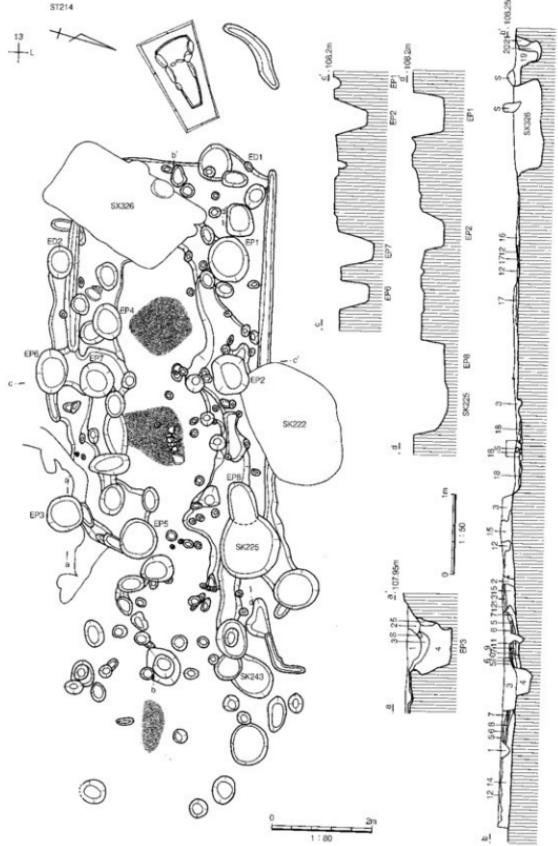
第11図 ST27・329住居跡



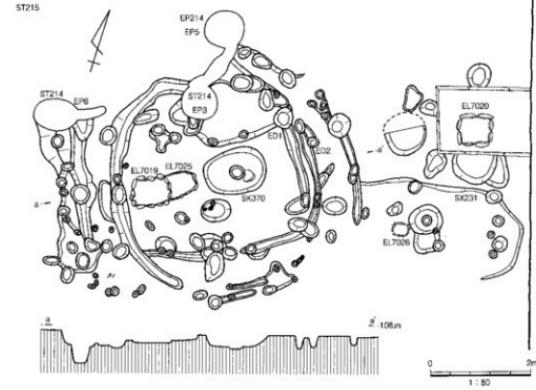
- ST49
EP14
- 1 T5TR17/1 黑色細粒質シルト バス紋層 地山砂を多量含む。
 - 2 T5TR17/2 黑色細粒質シルト 地山砂を多量、バスク紋を含む。種くしまる。
 - 3 IGYR2/2 黑色粘土質シルト 地山粘土を多量、バス紋層 地山砂を少量含む。
 - 4 IGYR2/2 黑色粘土質シルト 地山粘土を多量、バス紋層を少量含む。種くしまる。
- EP15
- 1 T5TR17/1 黑色細粒質シルト 大小の1.5cm程、褐土塊を多量に含む。
 - 2 IGYR2/2 黑色粘土質シルト 地山砂を多量、バス大粒を少量、黄化物を微弱含む。
- EP16
- 1 T5TR17/2 黑色細粒質シルト 地山砂を少量、小粒の地山砂層 地山土粒・バス紋を斑状に含む。種くしまる。
- EP18
- 1 IGYR2/2 黑色粘土質シルト 大小のバス紋少量、黄化物を微弱含む。
 - 2 IGYR2/2 黑色粘土質シルト 地山砂・地山粘土を多量、バス紋を含む。
 - 3 IGYR2/2 黑色粘土質シルト 大小のバス紋少量、黄化物を微弱含む。
 - 4 IGYR2/2 黑色粘土質砂層 地山粘土と黒色粗粒砂層シルト層の上部、バス紋を微量含む。
 - 5 IGYR2/2 黑色粘土質砂層 地山砂を少量含む。
 - 6 IGYR2/2 黑色粘土質砂層 地山砂を多量、バス紋・地山砂層・黄化物を少量含む。
 - 7 IGYR2/2 黑色粘土質砂層 小さな地山砂粒・バス紋を少量、地山砂層・黄化物を多量含む。

第12図 ST55住居跡



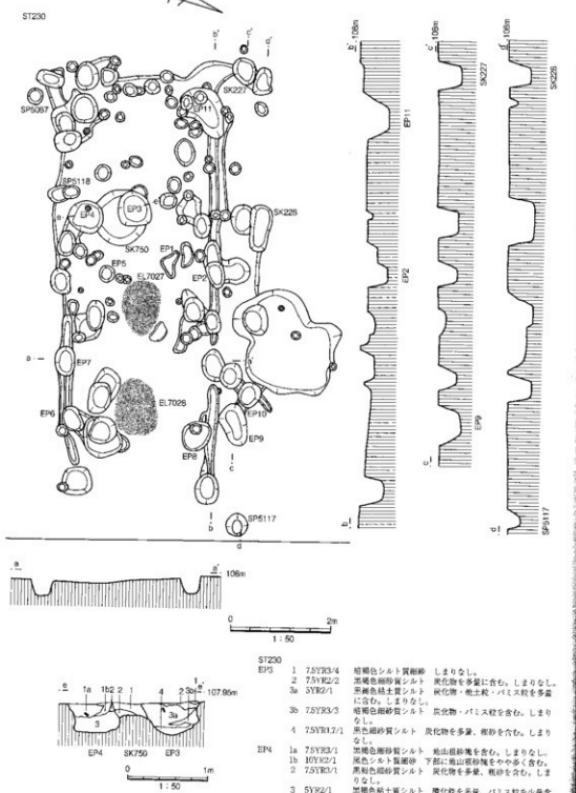


第14図 ST214住居跡



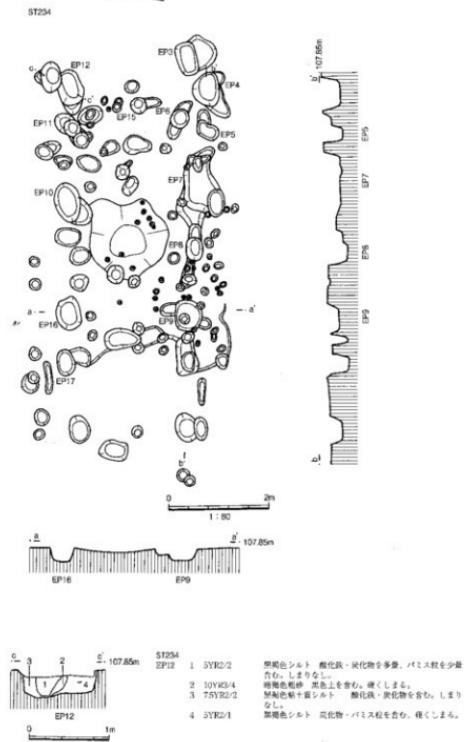
- ST214
- 1 10Y32/2 黄褐色シート質隙隙 7.5YR4/4 黄褐色を多少、パステルを少量、炭化物を微量含む。
 - 2 10Y32/2 黄褐色シート質隙隙 7.5YR4/4 黄褐色を少度含む。
 - 3 10Y32/1 黄褐色シート質隙隙 7.5YR4/4 黄褐色を少度含む。
 - 4 10Y32/1 黄褐色シート質隙隙 7.5YR4/6 黄褐色を少度含む、パステルを少量含む。炭化物を微量含む。
 - 5 10Y32/2 黄褐色シート質隙隙 7.5YR4/4 黄褐色を少度含む、炭化物を含む。
 - 6 10Y32/6 黄褐色シート 花崗岩鉱を少量含む。
 - 7 10Y32/2 黄褐色シート質隙隙 7.5YR4/4 黄褐色を少度含む。
 - 8 7.5YR17/1 黄褐色隙隙 7.5YR4/6 黄褐色を少度含む。
 - 9 10Y32/2 黄褐色隙隙 7.5YR4/6 黄褐色を少度含む。
 - 10 10Y32/1 黄褐色隙隙 7.5YR4/7 黄褐色を少度含む、山形岩を少量含む。
 - 11 10Y32/1 黄褐色隙隙 7.5YR4/4 黄褐色を少度含む、炭化物を微量含む。
 - 12 10Y32/2 黄褐色隙隙 7.5YR4/6 黄褐色を少度含む、炭化物を微量含む。
 - 13 10Y32/2 黄褐色隙隙 7.5YR4/6 黄褐色を少度含む、炭化物を微量含む。
 - 14 10Y32/2 黄褐色隙隙 7.5YR4/6 黄褐色を少度含む。
 - 15 10Y32/2 黄褐色隙隙 7.5YR4/6 黄褐色を少度含む、炭化物を微量含む。
 - 16 10Y32/2 黄褐色隙隙 7.5YR4/6 黄褐色を少度含む。
 - 17 7.5YR4/8 砂岩、炭土、炭化物、パステルを少量含む。
 - 18 10Y32/3 砂岩、炭土、炭化物、パステルを少度含む。
 - 19 10Y32/2 黄褐色隙隙 7.5YR4/6 黄褐色を少度含む、炭化物を微量含む。
 - 20 10Y32/2 黄褐色隙隙 7.5YR4/6 黄褐色を少度含む、炭化物を微量含む。
 - 21 10Y32/1 黄褐色隙隙 10Y32/2 黄褐色シート質隙隙を含む。
- ST215
- 1 7.5YR17/1 黑色シルト 黑色物を少度、粘土を多量に含む。しまりなし。
 - 2 7.5YR17/2 黑色シルト 黑色物を少度、粘土を多量に含む。しまりなし。
 - 3 7.5YR17/2 黑色シルト 黑色物を少度、粘土を多量に含む。しまりなし。
 - 4 7.5YR17/2 黑色シルト 黑色物を少度、粘土を多量に含む。しまりなし。
 - 5 7.5YR2/3 黑色物と粘土シルト ハニースラブを多量に含む。被くしまる。

第15図 ST215住居跡



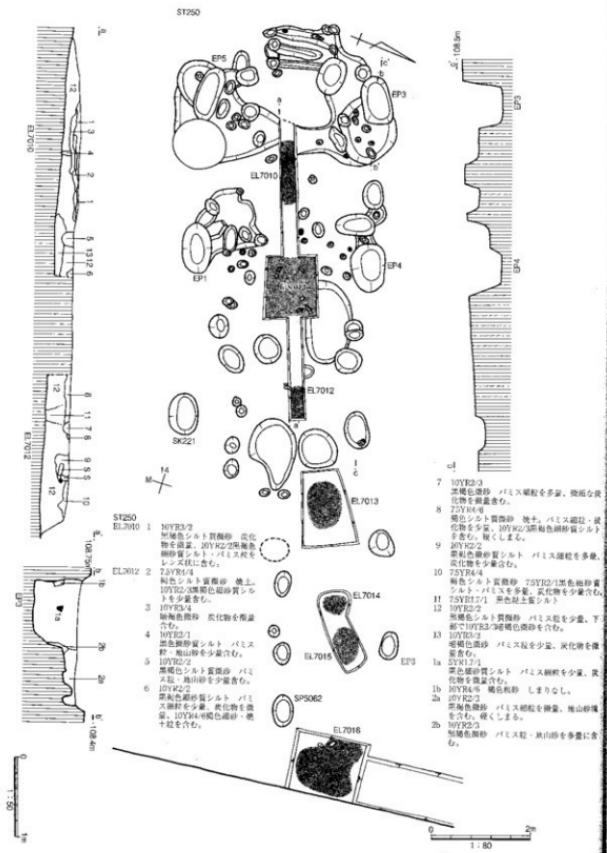
第16図 ST230住居跡

-20-

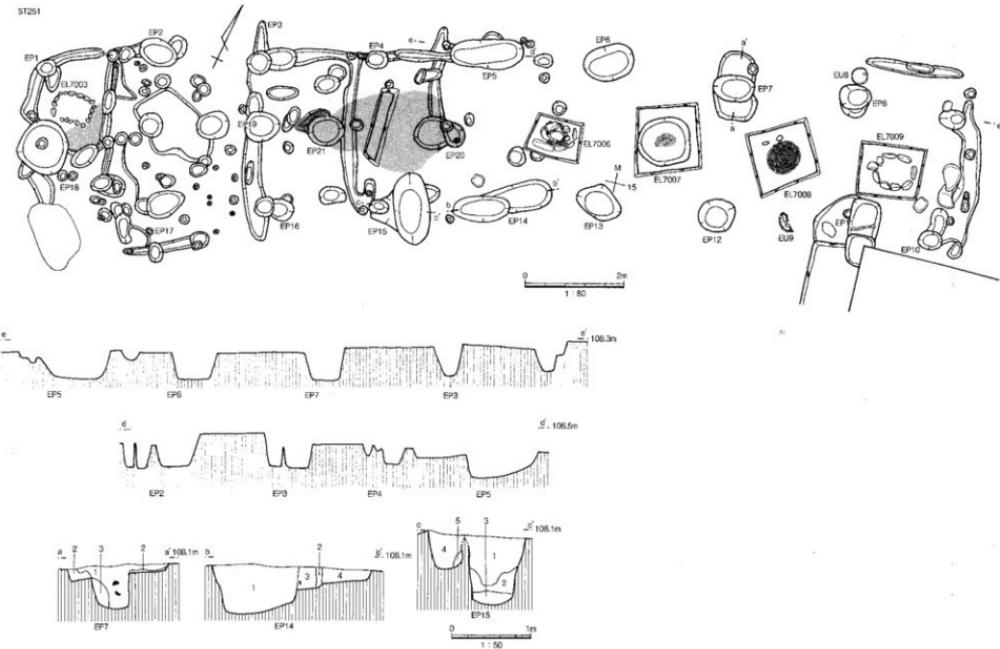


第17図 ST234住居跡

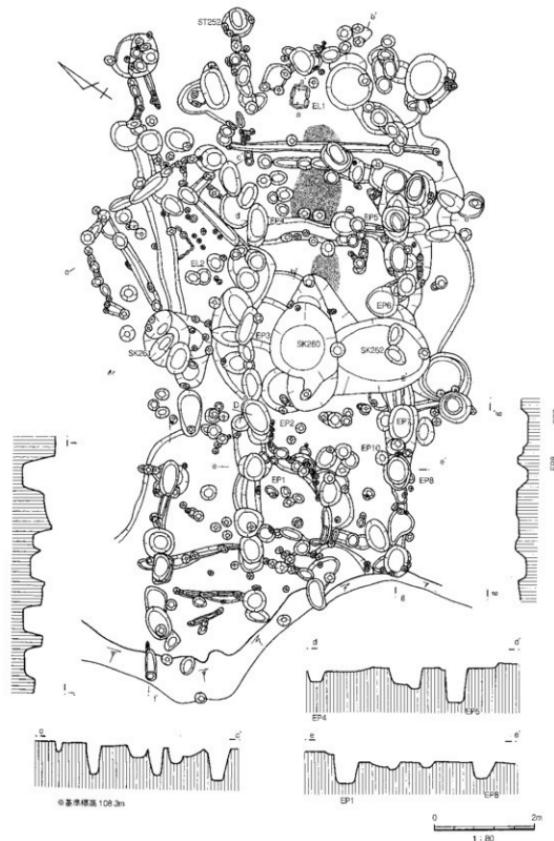
-21-



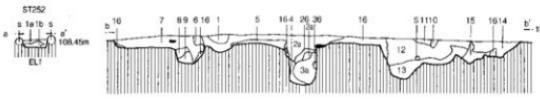
ST251



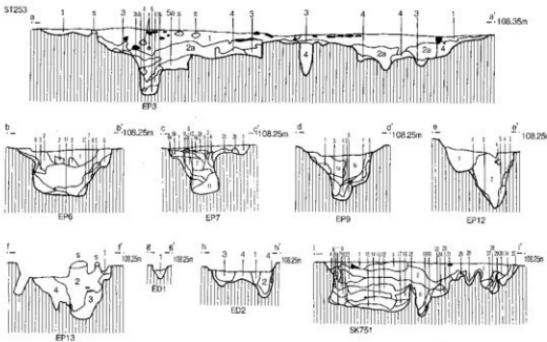
第19図 ST251住居跡



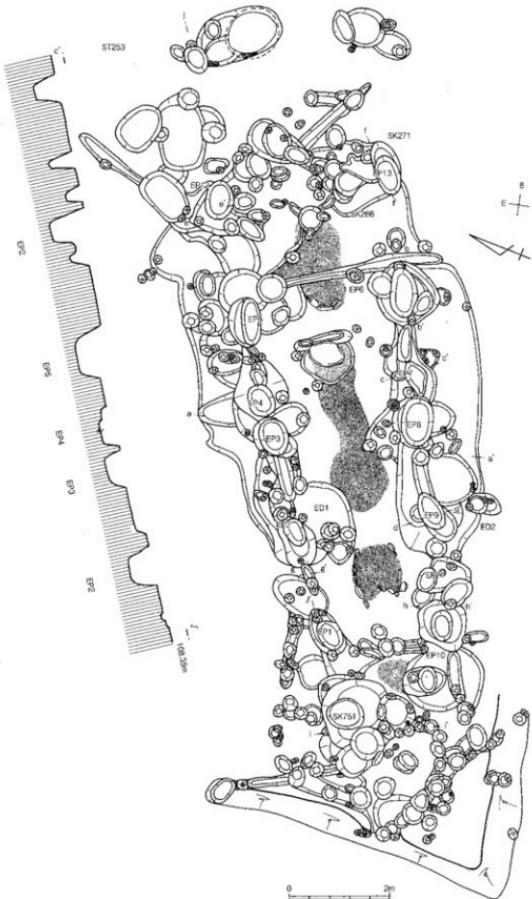
第20図 ST252住居跡



- ST252
 1 MYRL2/1 黄色細粒粉質砂 剥離土・残土を少量含む。
 2a 10YR2/3 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracte・鐵上を少許含む。
 2b 75YR4/4 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracte・鐵上を少許含む。
 3a 10YR2/3 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracte・鐵上を少許含む。
 3b 75YR4/6 黄褐色細粒質微粒 灰化土・鐵上を少許含む。
 4 10YR5/4 じ(ニ) 実開化灰土質微粒 灰化物・バス tracteを含む。
 5 10YR4/4 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracteを含む。
 6 10YR2/1 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracteを含む。
 7 10YR2/2 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracteを含む。
 8 10YR2/2 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracteを含む。
 9 10YR2/3 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracteを含む。
 10 10YR2/3 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracteを含む。
 11 75YR4/4 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracteを含む。
 12 10YR2/3 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracteを多量に含む。
 13 10YR4/4 黄褐色細粒質微粒 灰化物・バス tracteを少許含む。
 14 10YR2/2 黄褐色細粒質微粒 灰化物を少量、バス tracteを含む。
 15 10YR2/3 黄褐色細粒質微粒 灰化物を少許含む。
 16 10YR2/2 黄褐色細粒質微粒 灰化物を少許含む。
 EL1
 1a 10YR2/2 黄褐色細粒質微粒・鐵土・鐵土粒を少許含む。
 1b 75YR3/4 黄褐色細粒質微粒 灰化土・鐵上・10YR2/2黄褐色細粒質微粒を含む。

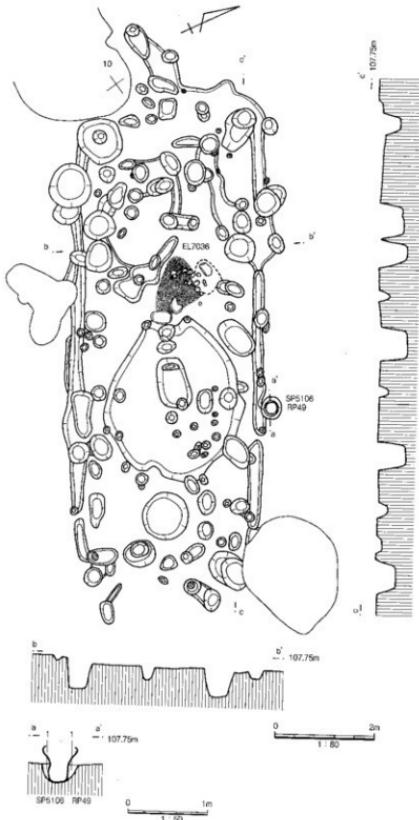


第21図 ST252・253住居跡

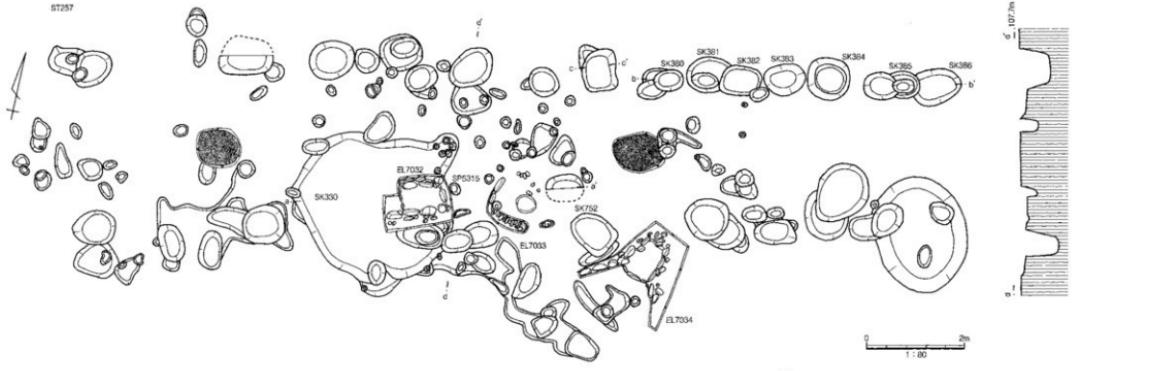


第22図 ST253住居跡

ST254

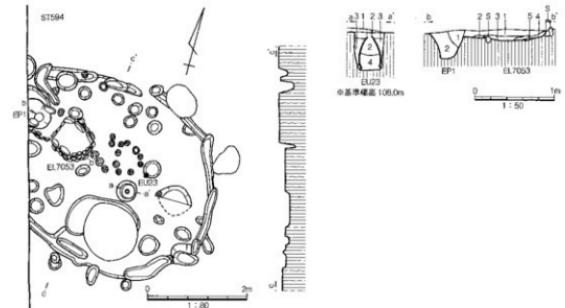


第23図 ST254住居跡



254
255 | 19VB2/1 黒色織紋質シルト。熱山吹毛織質合む。しまりなし。

第24図 ST257住居跡



S6666	7575-77	
ELU61	1 7575V2	黒角に上白をもつ。黄葉部、 <u>7575</u> を多く含む。
	2 7575V2	黒角に上白をもつ。黄葉部、 <u>7575</u> を多く含む。
ELU59	1 7575V2	モカシトウ。黄葉部を多く含む。 モカシトウと似た葉質と葉形。 <u>7575</u> を多く含む。
	2 7575V2	モカシトウと似た葉質と葉形。 <u>7575</u> を多く含む。
	3 7575V2	モカシトウと似た葉質と葉形。 <u>7575</u> を多く含む。
	4 7575V3	モカシトウと似た葉質と葉形。 <u>7575</u> を多く含む。
	5 1075V2	モカシトウ。 黒角に上白をもつ。
ELU59	1 1075V6	黒角に上白をもつ。 モカシトウ。 花序は細長く、花序の先端部には白花を多く含む。根くじらとなる。
	2 1075V6	黒角に上白をもつ。 モカシトウ。 花序は細長く、花序の先端部には白花を多く含む。根くじらとなる。
	3 1075V3	黒角に上白をもつ。 モカシトウ。 花序は細長く、花序の先端部には白花を多く含む。根くじらとなる。
	4 1075V3	黒角に上白をもつ。 モカシトウ。 花序は細長く、花序の先端部には白花を多く含む。根くじらとなる。
	5 1075V2	黒角に上白をもつ。 モカシトウ。 花序は細長く、花序の先端部には白花を多く含む。根くじらとなる。
	6 7575V2	モカシトウ。 黒角に上白をもつ。 花序は細長く、花序の先端部には白花を多く含む。根くじらとなる。
	7 7575V2	モカシトウ。 黒角に上白をもつ。 花序は細長く、花序の先端部には白花を多く含む。根くじらとなる。
	8 7575V4	モカシトウ。 黒角に上白をもつ。 花序は細長く、花序の先端部には白花を多く含む。根くじらとなる。
	9 7575V4	モカシトウ。 黒角に上白をもつ。 花序は細長く、花序の先端部には白花を多く含む。根くじらとなる。

ST965 : 693 : 694 : 721

EL7046	1 10YR2/2 2 10YR2/2 3 75YR5/6 4 10YR2/2 5 10YR2/2 6 25YR17/1	褐色土系土質 褐色土系土質 同褐色土系土質 褐色土系土質 褐色土系土質 褐色土系土質	バニズ樹種、褐色砂、灰化物、薄土層を少含む バニズ樹種、褐色砂、灰化物を含む 同褐色土系土質、骨粉、灰化物を含む バニズ樹種、褐色砂、灰化物を含む 褐色土系土質 バニズ樹種、褐色砂、灰化物を含む バニズ樹種、褐色砂、灰化物を含む
--------	-----------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

7 10YR2/1 黑色粘土質微砂 塑化物・褐色砂を微量、隕を含む。

九月廿二日，余在北山，見一老翁，年八十有二，顴骨高突，目有白翳，衣冠不整，持一竹筒，中盛水，行於山間，人問其故，答曰：「吾子孫多病，吾欲以水灌之，使無病。」

SK5883 25VR12/3 電子カット工具
秀光電工株式会社 25ミリ板取・接合用工具

2 25YR1.7/1 本品色狀十質微
一 差異化成爲無機
一 氧化物之氯化物。

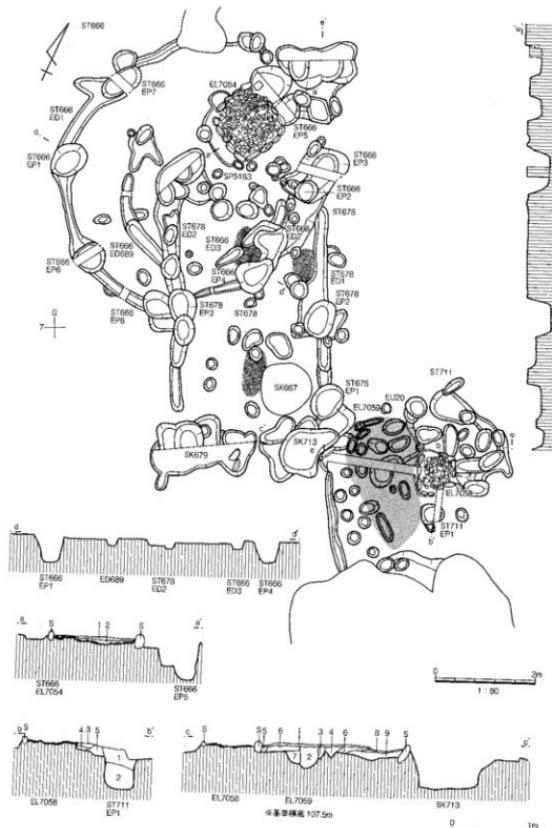
3 10YR2/2 黒褐色粘土質微砂 塗化物を微量、褐色砂をやや多く含む。
4 2ENR1/2/3 深褐色粘土質微砂 塗化物を微量、褐色砂をやや多く含む。

機械工具類等の荷物を運搬する。荷物を積むと、荷物の重さによって運搬距離が制限される。荷物を積むと、荷物の重さによって運搬距離が制限される。

6 25YR17/1 小黑色粘土質砂砾
地表已形成鐵鏽層
施工、風化物、褐色伊米亞帶苔草
バミス衛、炭化物を少量含む。

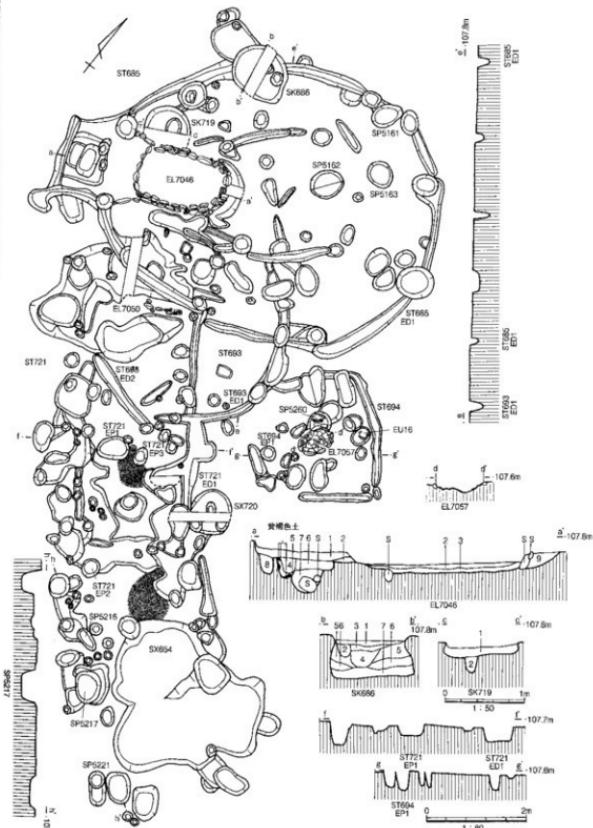
SYR1.7/1 黑色點上質微細
褐色點を少量、燒土を微量含む。

第25図 ST594住居跡



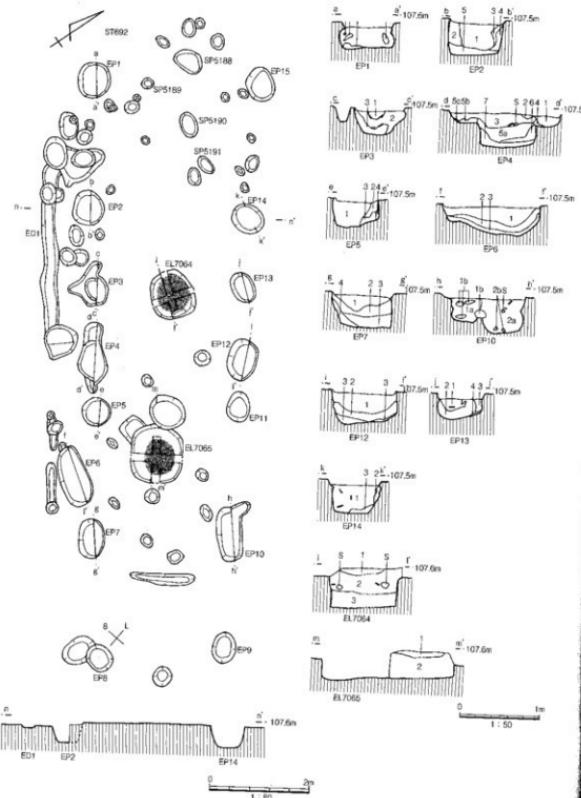
第26図 ST666・678・711住居跡

-32-



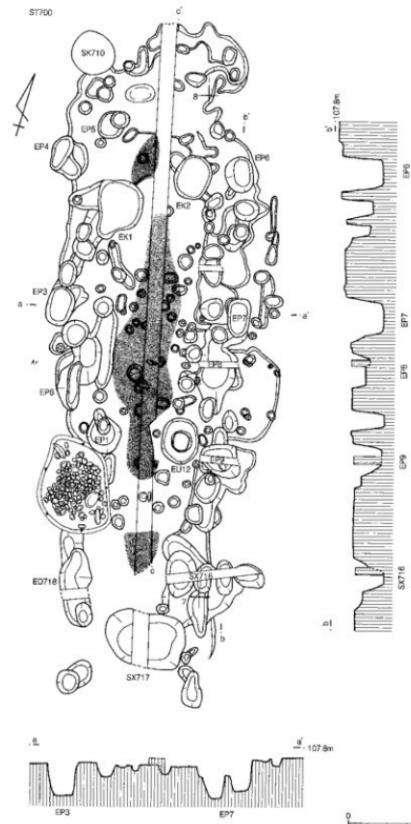
第27図 ST685・693・694・721住居跡

-33-



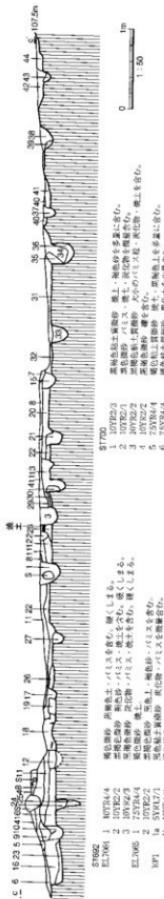
第28図 ST692住居跡

-34-



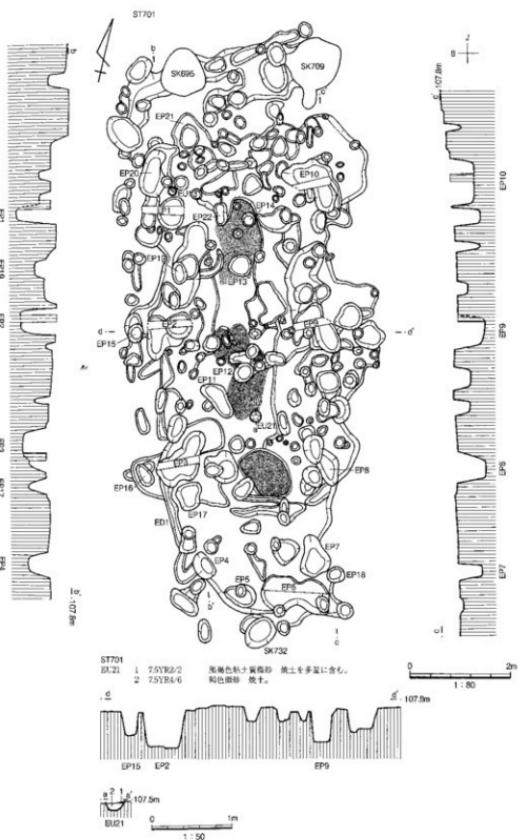
第29図 ST700住居跡 (1)

-35-



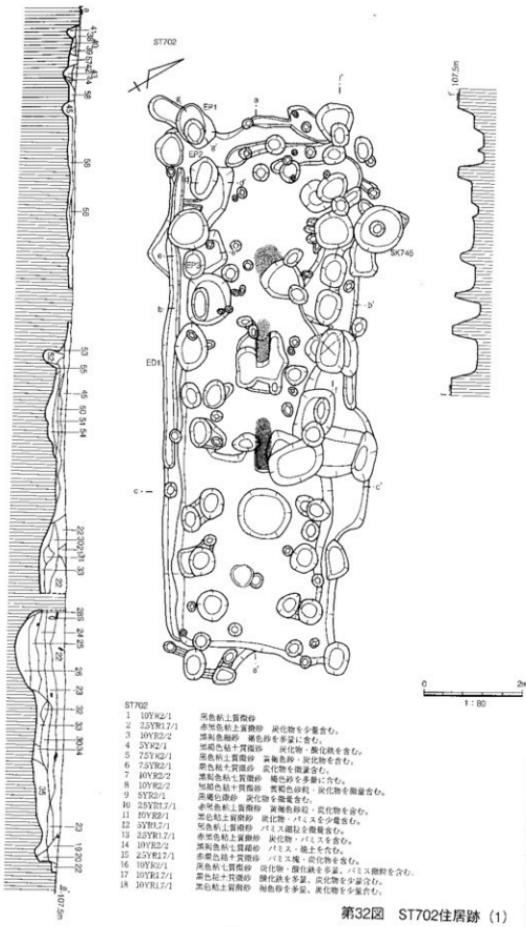
- 36 -

第28図 ST700住居跡(2)

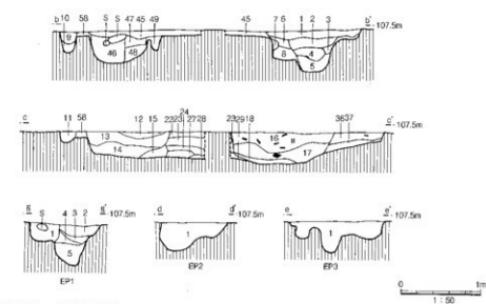


第30図 ST701住居跡(2)

- 37 -



-38-



- 1 107E2/1 黑色粘土質陶器 粒、幾十、灰化物を含む。
- 2 107E2/2 黑色粘土質陶器 蘭花物を多量に含む。
- 3 107E2/3 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 4 SYE2/1 黑色粘土質陶器 灰化物・灰化灰を含む。
- 5 SYE2/2 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 6 107E2/1 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 7 107E2/2 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 8 SYE2/2 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 9 SYE2/3 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 10 SYE2/1 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 11 107E2/1 黑色粘土質陶器 灰化物・灰化灰を含む。
- 12 107E2/2 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 13 107E2/3 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 14 107E2/2 黑色粘土質陶器 バスル、蘭土を含む。
- 15 107E2/1 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 16 107E2/2 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 17 107E2/1 黑色粘土質陶器 灰化物を多量に含む。
- 18 107E2/1 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。

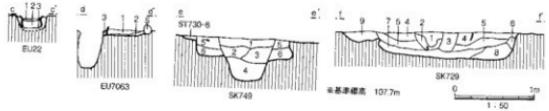
- EP1 1 107Y2/1 黑色粘土質陶器 バスル、褐色物・灰化物を含む。
- 2 107Y2/2 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 3 107Y2/3 黑色粘土質陶器 灰化物・灰化灰を含む。
- 4 107Y2/1 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。
- 5 107Y2/2 黑色粘土質陶器 黄褐色を多量に含む。

EP2 1 107Y2/2

黑褐色粘土質陶器 バスル、褐色物を含む。

EP3 1 107Y2/1 黑褐色粘土質陶器 灰化物・バスク・褐色物を含む。

-39-



SK730		
EU02	1 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 2 10YR5/8 黑褐色土上黄褐色 3 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 4 10YR2-1 黑褐色土上黄褐色 5 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 6 10YR2-3 黑褐色土上黄褐色 7 10YR2-1 黑褐色土上黄褐色 8 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 9 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色	黒褐色土を多く含む。 河原土上黄褐色。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。
EU03	1 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 2 10YR5/8 黑褐色土上黄褐色 3 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 4 10YR2-3 黑褐色土上黄褐色 5 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 6 10YR2-3 黑褐色土上黄褐色 7 10YR2-1 黑褐色土上黄褐色 8 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 9 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色	黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。
SK749	1 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 2 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 3 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 4 10YR1/1 黑褐色土上黄褐色	黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。

EU02		
EU02	1 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 2 10YR5/8 黑褐色土上黄褐色 3 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 4 10YR2-1 黑褐色土上黄褐色 5 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 6 10YR2-3 黑褐色土上黄褐色 7 10YR2-1 黑褐色土上黄褐色 8 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 9 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色	黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。
EU03	1 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 2 10YR5/8 黑褐色土上黄褐色 3 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 4 10YR2-3 黑褐色土上黄褐色 5 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 6 10YR2-3 黑褐色土上黄褐色 7 10YR2-1 黑褐色土上黄褐色 8 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色 9 10YR2-2 黑褐色土上黄褐色	黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。
SK749	1 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 2 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 3 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 4 10YR1/1 黑褐色土上黄褐色	黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。

EU02		
EU02	1 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 2 10YR5/8 黑褐色土上黄褐色 3 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 4 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 5 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 6 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 7 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 8 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 9 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 10 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 11 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 12 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 13 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 14 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 15 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 16 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 17 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 18 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 19 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 20 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 21 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 22 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 23 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 24 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 25 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 26 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 27 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 28 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 29 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 30 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 31 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 32 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 33 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 34 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色	黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。
EU03	1 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 2 10YR5/8 黑褐色土上黄褐色 3 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 4 10YR1/1 黑褐色土上黄褐色	黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。 黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。
SK749	1 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 2 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 3 10YR2/1 黑褐色土上黄褐色 4 10YR1/1 黑褐色土上黄褐色	黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。黒褐色土を多く含む。

第36図 ST730住居跡 (2)

2 墓壙 (第37図～第42図)

墓壙は、長径1.5～1.8m、短径1m程の楕円あるいは小判形の平面形を呈する。平坦に作り出された底面の周縁には、幅10～20cmの溝が巡るものが多い。地山面での検出のため、当時の生活面からの深さは不明であるが、一般に掘り込みは浅い。壁の立ち上がりは、ほぼ垂直となる。

墓壙の分布は、中央広場の外側、内径15～17m、外径30～35mの範囲に約150基がほぼ環状に集中する。それらの分布密度から5～7の支群に分割されそうである。各支群内では墓壙同士の重複が著しい。また、これらの配置については、長軸方向が求心性をもって放射状に並ぶものが、特に北東部分に多く見られるもの（第39図・第40図）、全体的には、配置方向に対する一定の規則性は弱い。

遺物の出土は稀であったが、SM426（第39図）から手形土製品（第68図14）が出土している。

3 土壙 (第43図～第52図)

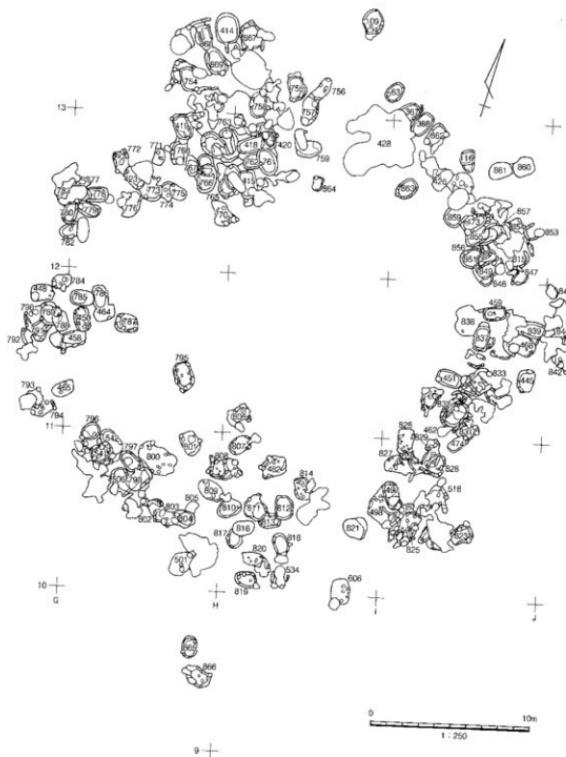
土壙は、中央広場を除く調査区全域に分布するが、墓壙群外縁部から幅10～15m付近に夥しい集中が見られる。これらを主体的に構成しているものは、北半では直径が80～100cmの円形の平面プランで、壁が底面からほぼ垂直に立ち上がるビーカー状の土壙であり、南半では直径50～60cmと小形のビーカー状、袋状の土壙および小ピットである。なお、西北部分では後世の削平が地山面まで及んでおり、詳細は不明である。底径1m、深さ80cmを越える大形のフラスコ状土壙は、土壙群から住居群にまで広く分布する。また、調査区南辺には、長径3m、確認面からの深さ30～60cmの不正規円形プランをもつ土壙の分布が確認されている。

これらの土壙は、その出土遺物から、ほとんどが太木8b式から太木9式期前半の所産と考えられるが、特に南辺の不正規円形土壙の一部からは、太木8a式期の遺物が主体的に出土している。

4 中央広場

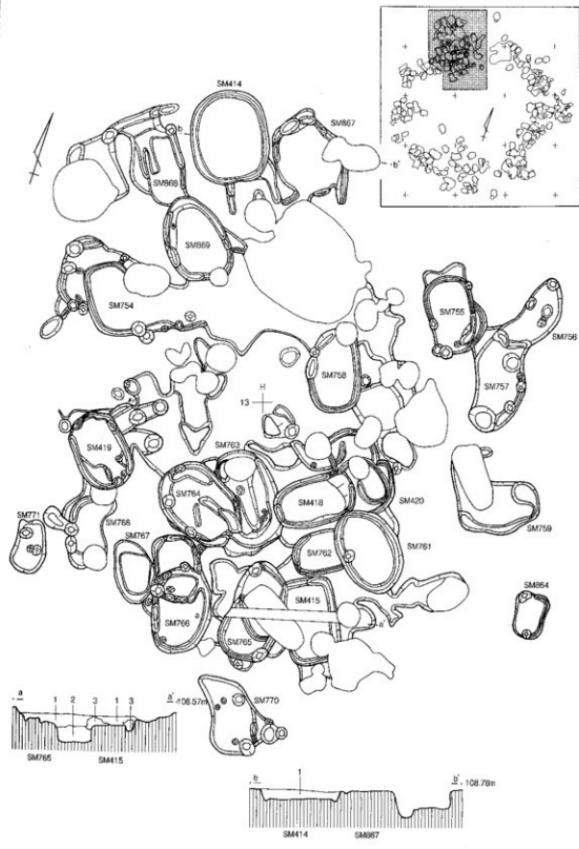
同心円状に分布する各遺構群の中心部分、直径15～17mの範囲には、遺構密度のまばらな区域が検出された。ここは、周辺に比較して表土および黒色土層の堆積が薄く、地山面が高くなっている。また、地山面付近には凝灰岩の風化礫が多量に含まれ、或いは削平を受けている可能性があるが、この区域に分布する遺構は、確認面からの深さ10～20cmの小ピットのみである。

広場の北部では、直径6mの範囲に、環状に巡るピット群が検出され、何らかの施設の存在を示唆するが、その構造から恒常的なものとは考えがたい。

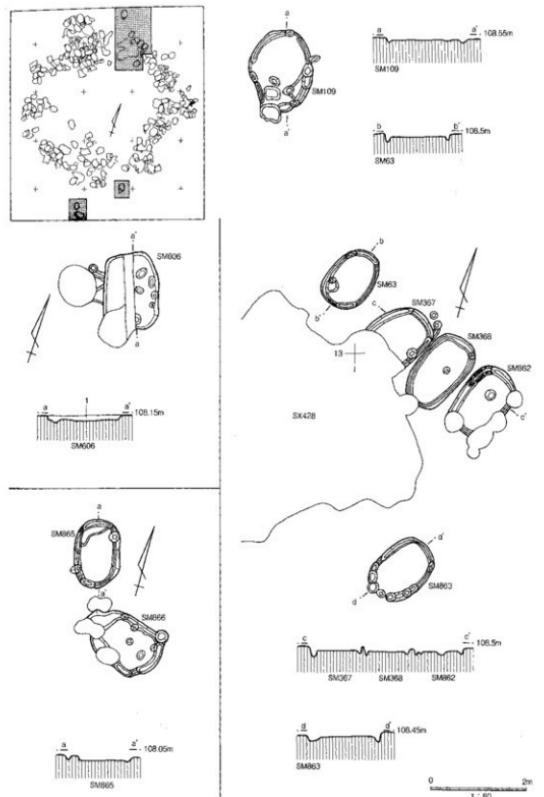


第37図 墓墳群配置図

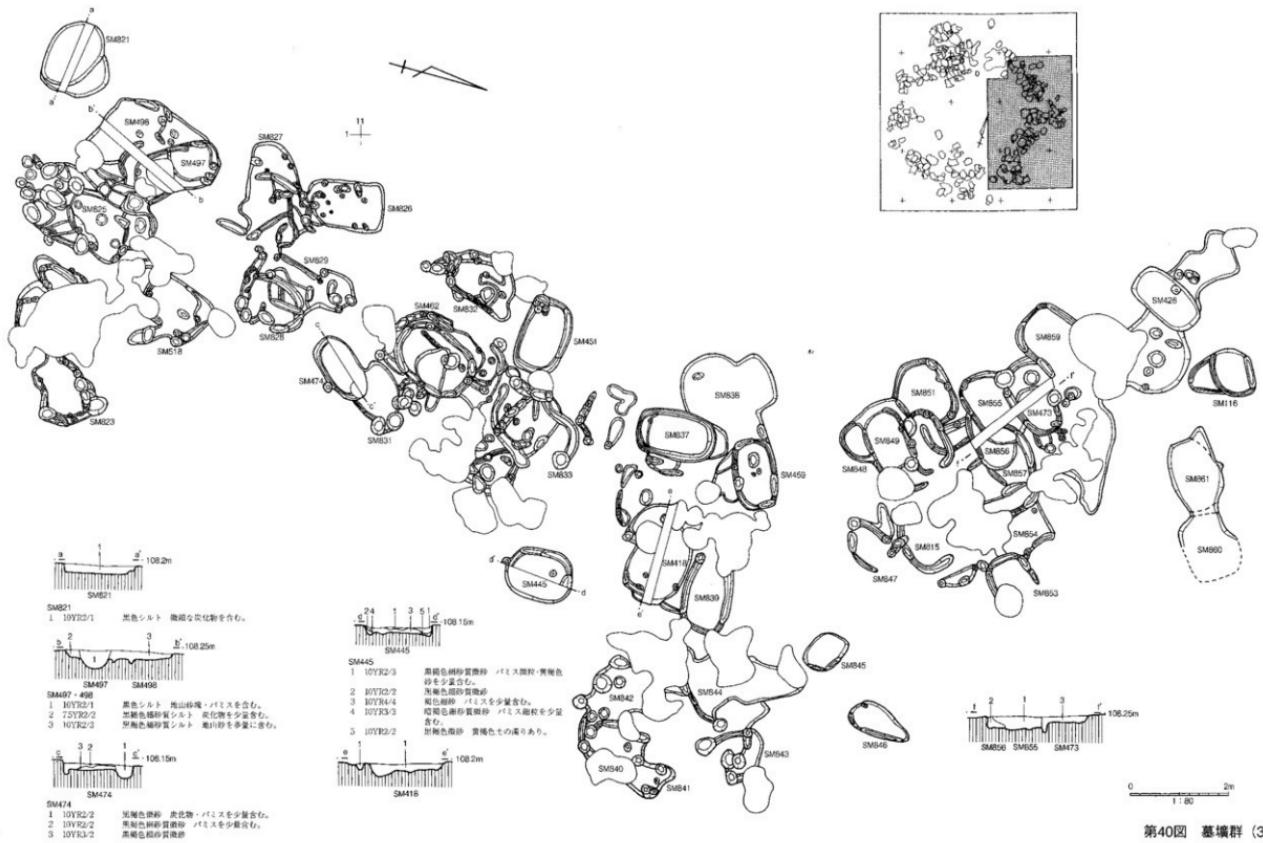
- 44 -

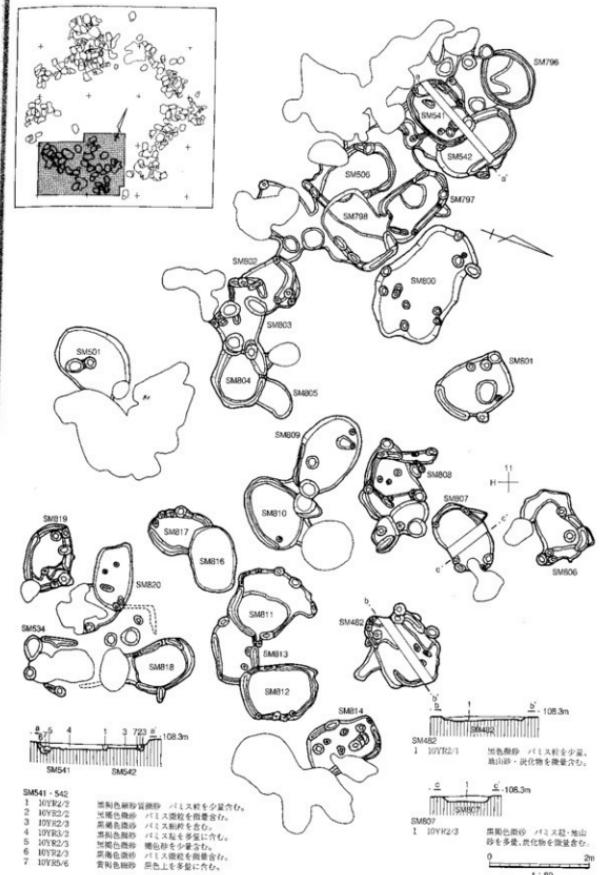


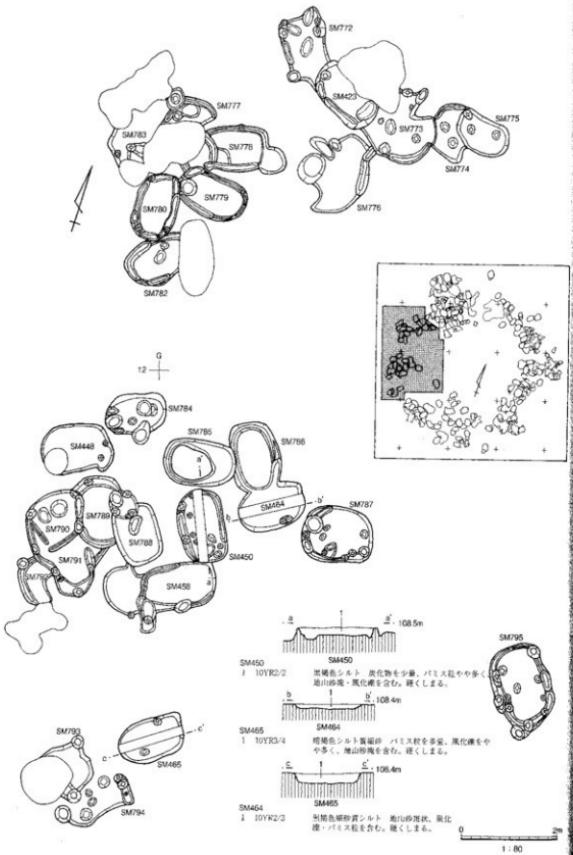
- 45 -



第39図 墓塚群(2)

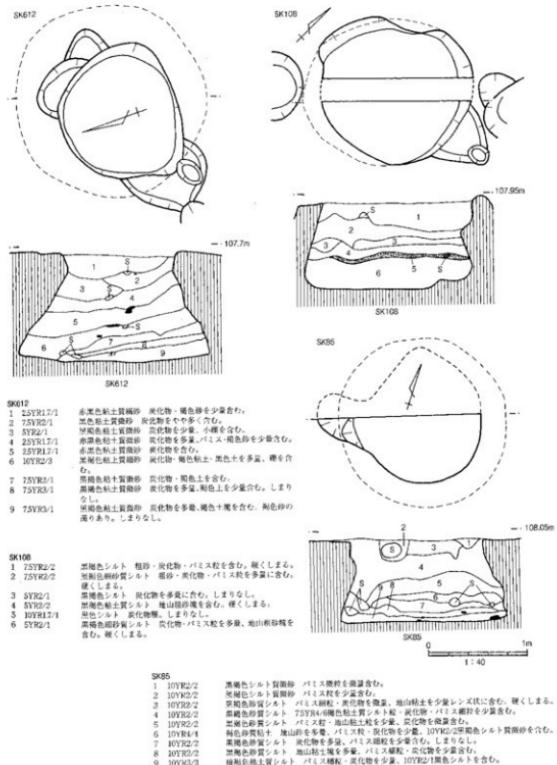






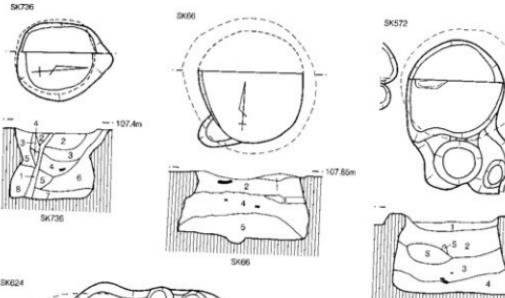
第42図 墓塙群（5）

-50-



第43図 土壌（1）

-51-



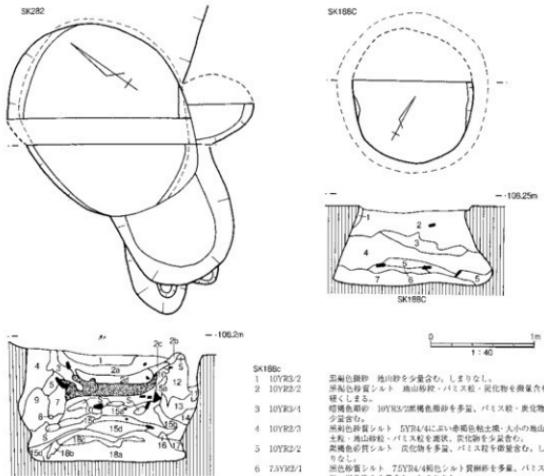
SK736
1. 10YR2/2 黒褐色柱状構造物 周辺に少量含む。
赤褐色柱状構造物 バスチス少量含む。
2. 25YR17/1 褐褐色柱状構造物 様子特徴。
3. 10YV2/2 硬化層 特徴。
4. 10YR2/2 褐褐色柱状構造物 様子特徴。
5. 10YR3/3 褐褐色柱状構造物 様子特徴。
6. 10YR2/2 褐褐色柱状構造物 様子特徴。
7. 10YR2/2 褐褐色柱状構造物 様子特徴。
8. 10YR2/3 褐褐色柱状構造物 様子特徴。

SK66
1. 10YR2/3 黄褐色砂質砂シルト 地面付近を多く含む。
2. 10YR2/1 砂質砂質砂シルト 地面付近を多く含む。
3. 73YR1/1 砂質砂質砂シルト 地面付近を多く含む。
4. 73YR2/2 黄褐色砂質砂シルト 地面付近を多く含む。
5. 73YR2/2 黄褐色砂質砂シルト 地面付近を多く含む。
6. 10YR2/2 黄褐色砂質砂シルト 地面付近を多く含む。
7. 10YR2/2 黄褐色砂質砂シルト 地面付近を多く含む。
8. 10YR2/2 黄褐色砂質砂シルト 地面付近を多く含む。
9. 10YR2/2 黄褐色砂質砂シルト 地面付近を多く含む。

SK624
0 1m
1 40

SK624
1. 10YR2/1 黑褐色細粒、有機物を多量、バシス粘土、褐色柱状構造、鐵生土柱を少量含む。
2. 57R2/1 黑褐色柱状構造物、硬土柱を含む。
3. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、硬土柱を含む。
4. 73YR2/2 黑褐色柱状構造物、硬土柱を含む。
5. 73YR2/2 黑褐色柱状構造物、硬土柱を含む。
6. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、硬土柱を含む。
7. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、硬土柱を含む。
8. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、硬土柱を含む。
9. 73YR4/3 黑褐色柱状構造物、硬土柱を含む。

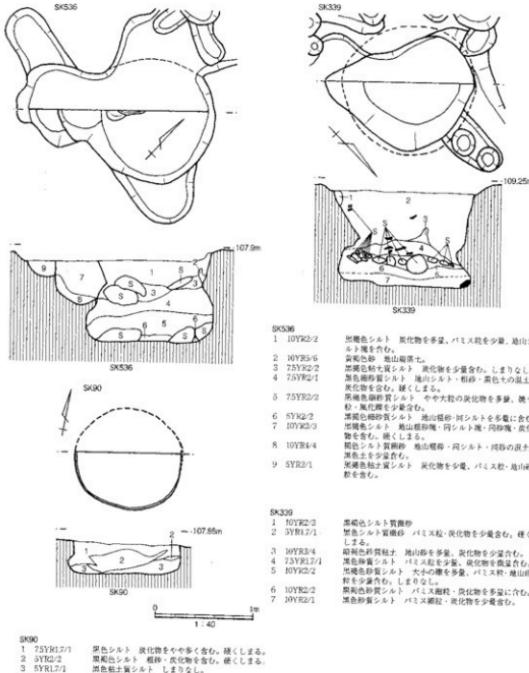
第44図 土壌(2)



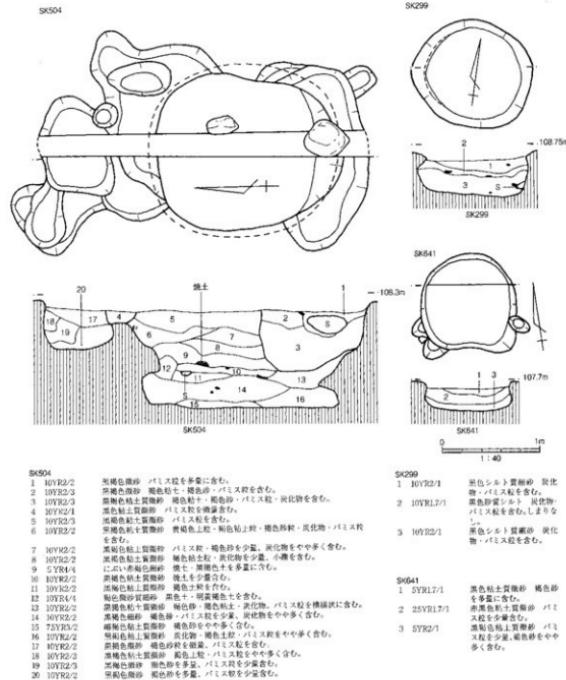
SK1882
1. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
2. 10YR2/2 黑褐色細粒、有機物を多量、バシス粘土、鐵生土柱を含む。
3. 10YR2/2 黑褐色細粒、有機物を多量、バシス粘土、鐵生土柱を含む。
4. 10YR2/3 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
5. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
6. 73YR2/1 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
7. 73YR2/1 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。

SK1880
1. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
2a. 10YR2/2 黑褐色細粒、有機物を少量含む。
2b. 10YR2/2 黑褐色細粒、有機物を少量含む。
3a. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
3b. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
4. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
5. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
6. 黄褐色砂
7. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
8. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
9. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
10. 10YR2/3 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
11. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
12. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
13. 10YR2/5 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
14. 10YR2/3 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
15. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
16. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
17. 10YR5/4 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
18. 10YR2/3 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
19. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。
20. 10YR2/2 黑褐色柱状構造物、鐵生土柱を含む。

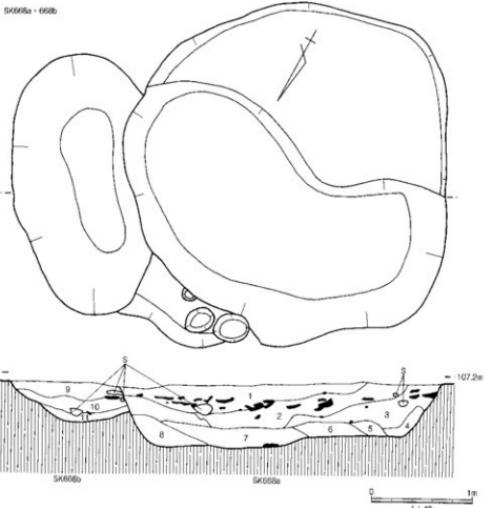
第45図 土壌(3)



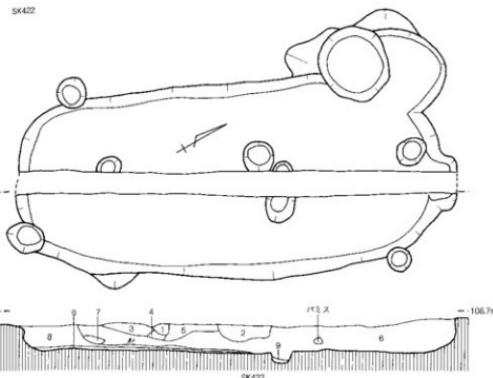
第46図 土壌 (4)



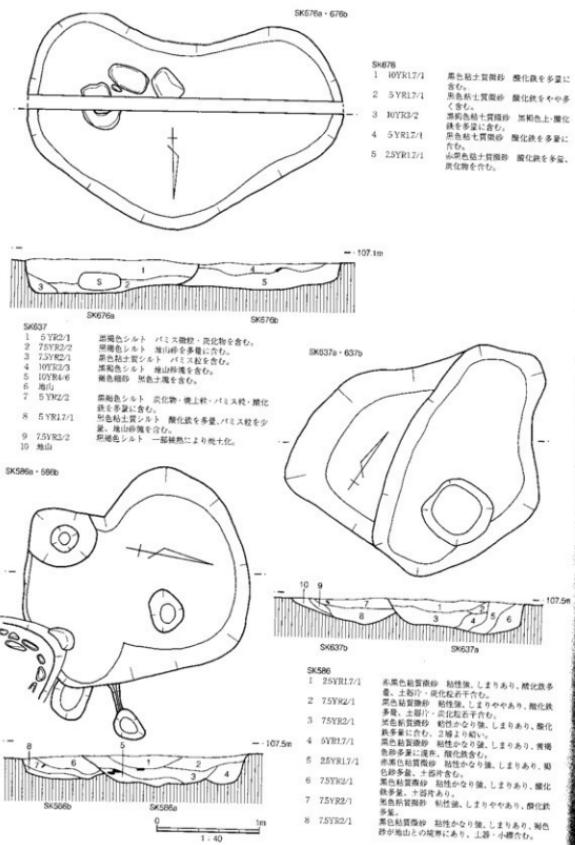
第47図 土壌 (5)



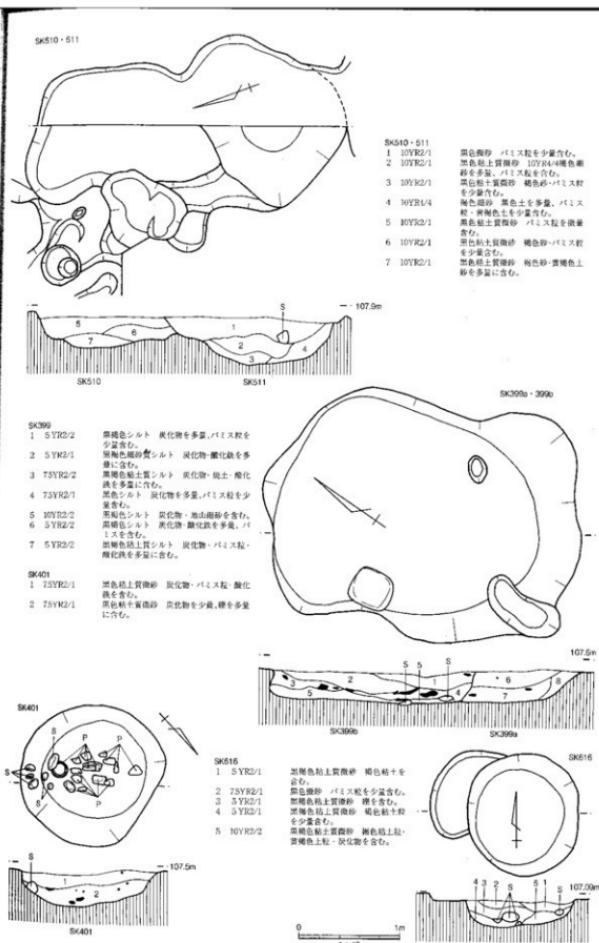
第48図 土壌 (6)



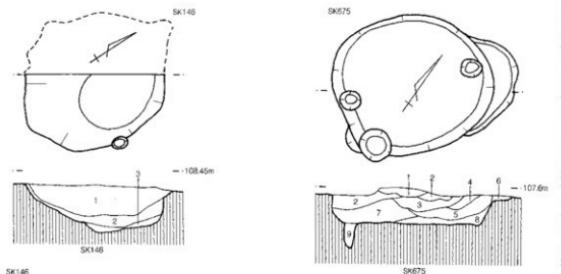
第49図 土壌 (7)



第50図 土壌(8)

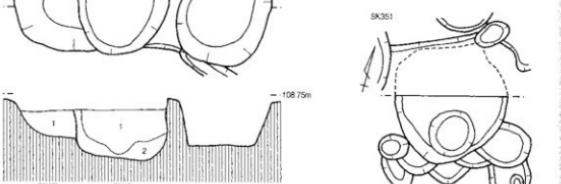


第51図 土壌(9)



SK46-40b

1. 5YR2/2 黑色シルト 荒化物・地土を多量に含む。
2. 5YR2/2 黑色シルト 荒化物を多量・バクシム・地山砂粒を含む。
3. 7.5YR2/1 黑色シルト バス状・地山砂粒を含む。
4. 10YR2/2 黑色シルト質粘土 地山砂粒を含む、バス状を少量含む。
5. 7.5YR2/2 黑色シルト質粘土 地山砂粒を含む、バス状を少量含む。
6. 7.5YR2/2 黑色シルト質粘土 地山砂粒を含む、バス状を少量含む。
7. 10YR2/3 黑色シルト質粘土 地山砂粒を含む、バス状を少量含む。
8. 10YR2/3 黑色シルト質粘土 地山砂粒を含む、バス状を少量含む。
9. 7.5YR1/7 黑色シルト 荒化物を少量含む。



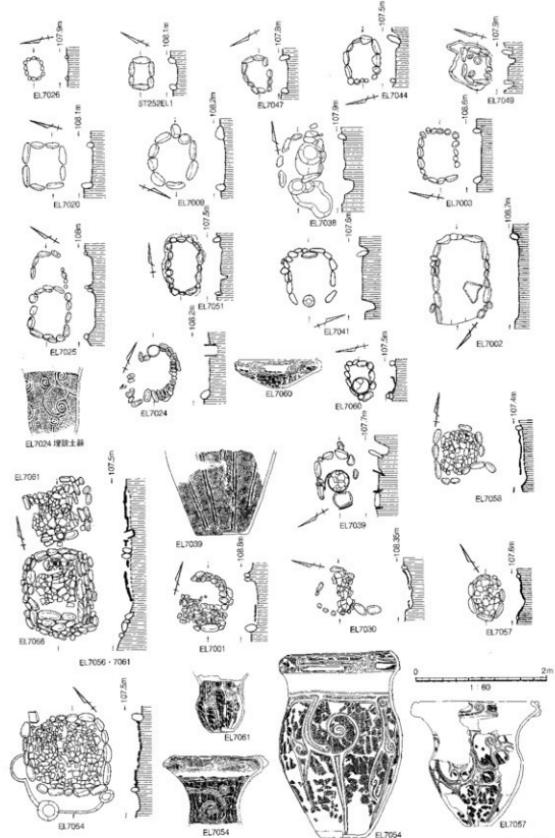
SK46b

1. 10YR2/1 黑色シルト質粘土 10YR2/2(暗褐色)を含む。バス状・炭化物を含む。
2. 10YR2/1 黑色シルト質粘土 地山砂粒を多量・バス状を少量・炭化物を微量含む。ほくしまる。

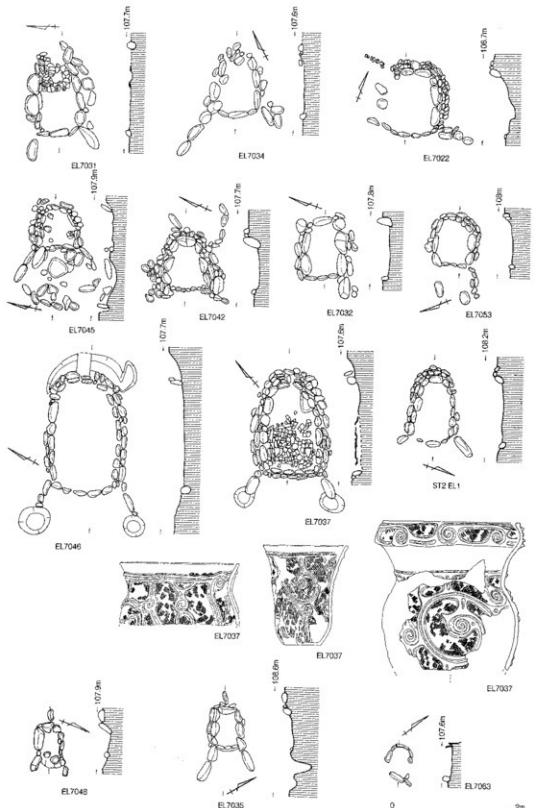
SK46a

1. 7.5YR1/7.1 黑色シルト 炭化物を微量・大小のバス状・地山砂粒を含む。
2. 10YR2/1 黑色シルト質粘土 10YR2/2(暗褐色)を含む。バス状を微量含む。ほくしまる。
3. 10YR2/1 黑色シルト質粘土 地山砂粒を多量に含む。

第52図 土壌 (10)



第53図 石囲炉集成図 (1)



第54図 石窯炉集成図(2)

-62-

V 出土した遺物

今回の調査で出土した遺物は、土器類が整理箱にして約900箱、石器類が150箱を数える。遺物の種類では、縄文土器・土製品・石器・石製品のはか、クリ・クルミなどの自然遺物、赤色顔料などが出土した。調査区内における主な遺物の分布を第5図～第7図に示したが、概ね土塙群域および住居群域への集中が見られ、中央広場並びに墓塙群域では希薄な状況が見て取れる。

1 縄文土器 (第55図～第65図)

西海道遺跡の主体となる縄文時代中期中葉の土器群は、大形から小形の深鉢形土器・浅鉢形土器を主体としている。深鉢形土器の器形は、胴膨らみ、頭部でくびれ口縁部が内弯するいわゆるキャリバー形を主体に、胴張りで口縁部が外反するもの、胴部から口縁部にかけて外反ぎみに外傾するものなどが多い。浅鉢形土器では内弯ぎみに立ち上がる器形が目立つ。これらの施文は、胴部・口縁部において地面上に粘土紐貼付文、沈文線・隆沈線文などによる溝文や垂下文等によって文様展開され、また頭部に無文帯をもつものが圧倒的に多い。またC字形の沈線区画と擦消縄文 (第59図5)、大振りな波状口縁と備描沈文線文 (第56図1) 等上記に後続するとみられる一群がある。これらは大木8式から大木9式期前半の特徴を有するもので本遺跡の主体となる。その他、縄文時代晩期中葉と見られる深鉢形土器も2点出土している (第65図9・10)。

このほか蓋形土器 (第55図11 第60図9)、器台形土器 (第56図8 第60図2)、皮袋形土器 (第65図1) 等の特殊な器形が存在し、また赤彩された土器 (第55図6) も比較的多い。

2 土製品 (第66図～第70図)

土製品は、土偶 (第66図・第67図・第68図1～8) が44点とやまとまって出土したほか、三角形の板状土製品 (第68図9～13) が7点、管状土製品 (第68図15～20 第69図1～10) が24点、土笛 (第69図35～37) が3点、ミニチュア土器が (第69図11～33) が36点など多様なものが出土している。また、土器片を加工した円盤状土製品 (第70図) が48点出土している。

特徴的なものとして、墓塙域のSM426から出土した手形 (第68図14) は、大きさから乳幼児のものとみられ、裏面には手形をとった大人の指痕が残っている。

3 その他の土器

1点のみであるが、B区のピット堆積土内から中世陶器の片口鉢が出土した (第65図11)。底面に珠洲二期に静止糸切痕がみられ、併行するものとみられる。

-63-

4 石器（第74図～第86図）

石鎌（第74図）は、図示した20点の出土である。基部の抉りの深い凹基鎌（第74図1～17）内基鎌（第74図18～20）がある。いずれも小形の石鎌である。

尖頭器（第75図19）は、基部両側縁にノッチの入った両面加工のものが1点出土した。石鎌とあわせ狩猟に関わる遺物は、以上である。

石鎌（第75図1～18）は、基部をつまみ状として刃部を長く作り出すもの（第75図1～7）棒状のもの（第75図8～15・17）、素材となった剥片の形を残して刃部を短く作り出したもの（第75図18）がある。刃部は両面加工となるものが多い。

石匙（第75図20・21、第76図・第77図）は、48点とやまとった数量が出土した。形態は複数が多い。また、2次加工は背面側の縁辺部とノッチおよびつまみ部に集中するが、背面側全面に加工が施されたもの（第76図4・5）や、ほとんどノッチのみのもの（第76図15）もある。

石箒（第78図・第79図1～8）は両面加工の短冊形が大半を占め、刃部の作り出しを円弧状にしたものが多い。

剥片石器は以上の定型石器のはか、搔器、削器、二次調整ある剥片（第79図12～20 第80図）が相当数出土した。剥片石器の素材は頁岩がほとんどである。

打製の礫石器としては打製石斧が5点出土した（第79図9～13）。大きさには差異があるが、いずれも凝灰岩製で両面に素材面を残す。

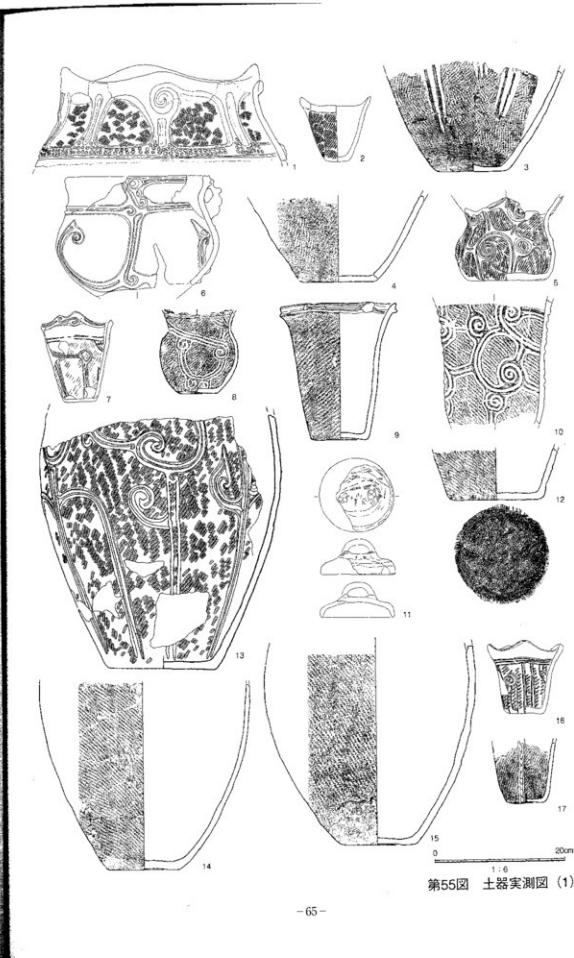
磨製石斧（第81図・第82図1～6）は71点が出土した。擦切りにより製作されたものが多く、また大半が破損しており、完形のものはごく僅かである。

食物の加工工具と考えられる圓石（第82図7～23 第83図 第84図1～4）、磨石（第84図5～23）は合わせて1,339点出土した。また、石皿（第85図 第86図）も大形のものを主体に31点出土しており、出土数量から本遺跡を特徴付ける遺物となっている。

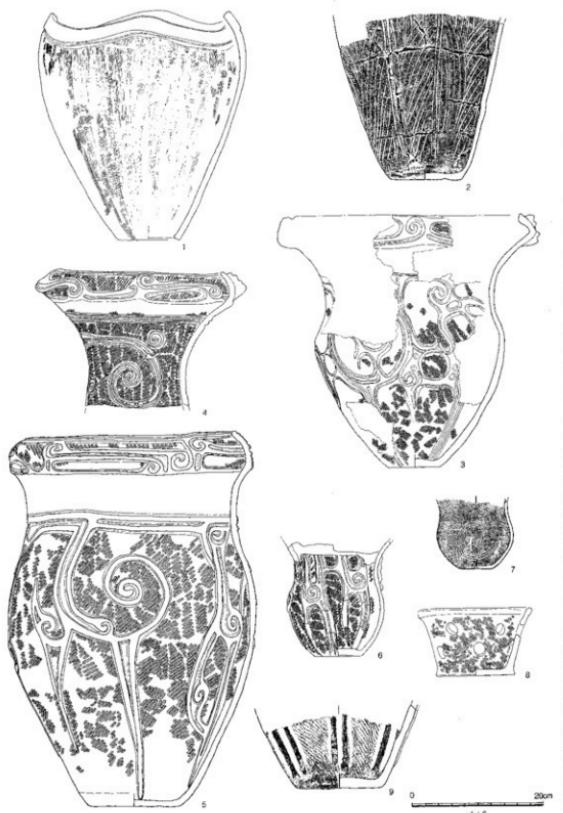
5 石製品（第84図15 第87図 第88図）

大形の石棒（第88図）は、19点とまとめて出土した。その出土状況は、祭祀の状態を伝えるものは無く、いずれも遺物包含層あるいは土壤堆積土内から得られたものである。側面は敲打の後に研磨成形され、また、末端部に加工が施されたもの（第88図1～7）がある。

その他の石製品では、線刻のある礫（第87図1～5）、石冠（第84図15）、三角形の小形板状石製品（第87図8・9）、扁平な小円錐の両端から抉入を試みた未製品と思われるもの（第87図7）、石ノミ（第87図13）など比較的小さな遺物が目立つが、数量的にはいずれも僅少である。

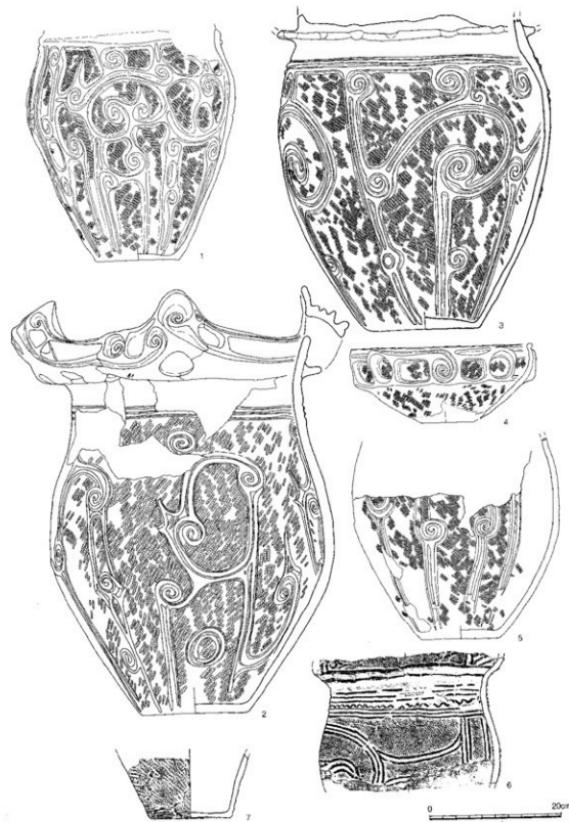


第55図 土器実測図(1)



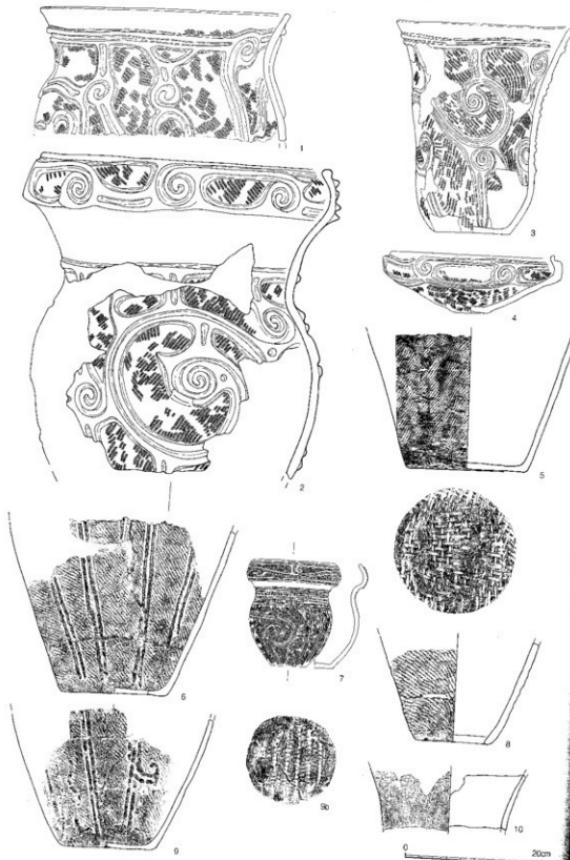
第56図 土器実測図(2)

-66-



第57図 土器実測図(3)

-67-



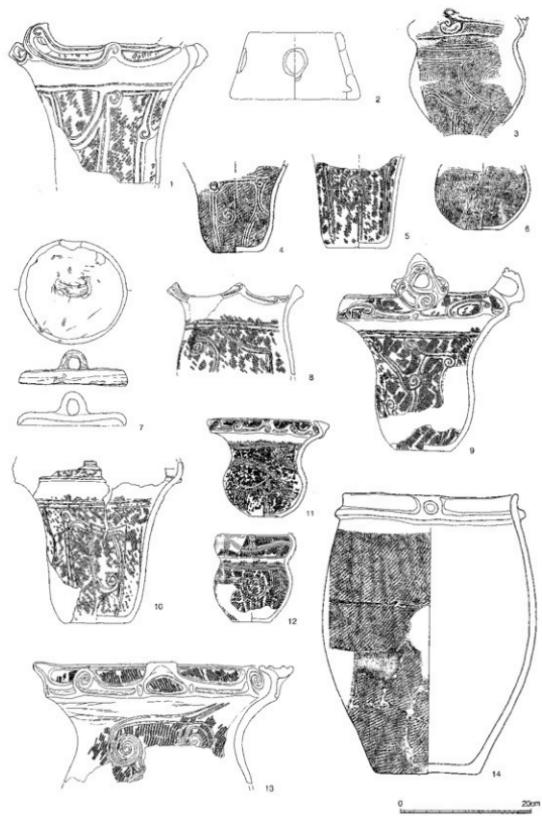
第58図 土器実測図(4)

-68-



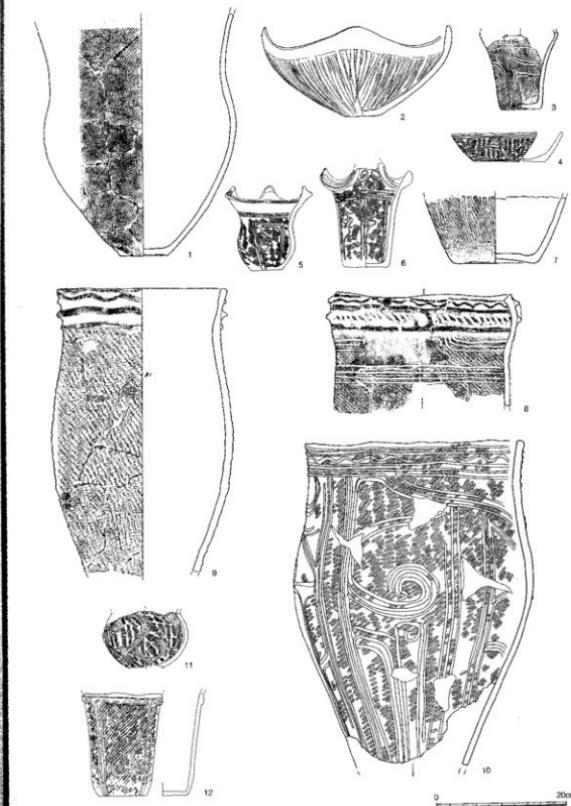
第59図 土器実測図(5)

-69-



第60図 土器実測図(6)

-70-



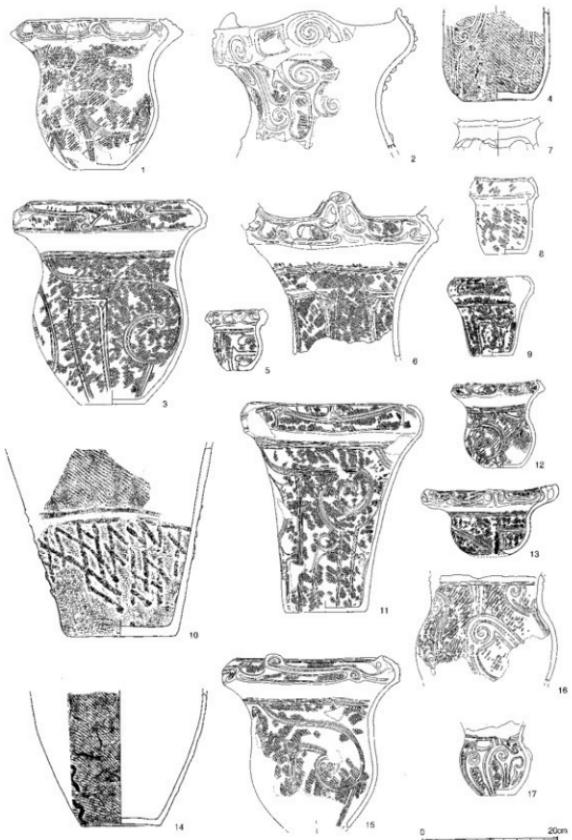
第61図 土器実測図(7)

-71-



第62図 土器実測図(8)

-72-



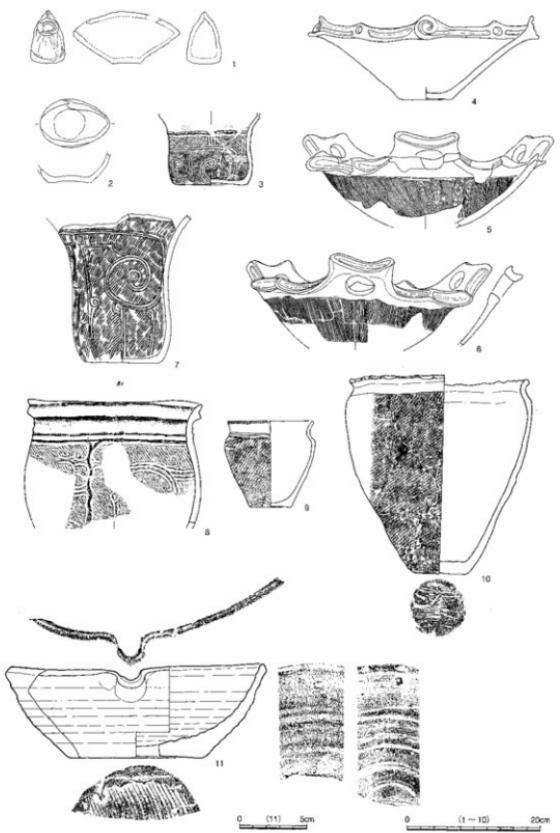
第63図 土器実測図(9)

-73-



第64図 土器実測図 (10)

-74-



第65図 土器実測図 (11)

-75-



第66図 土製品実測図(1)

-76-



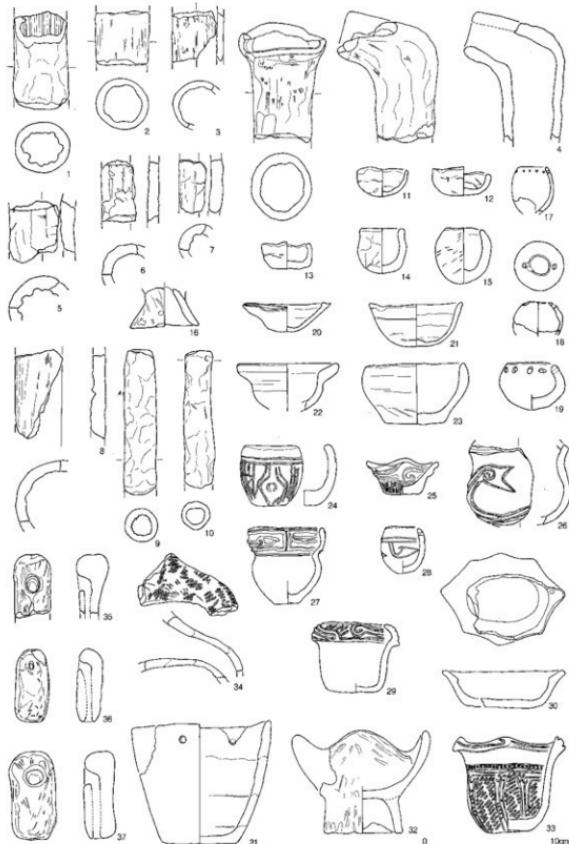
第67図 土製品実測図(2)

-77-



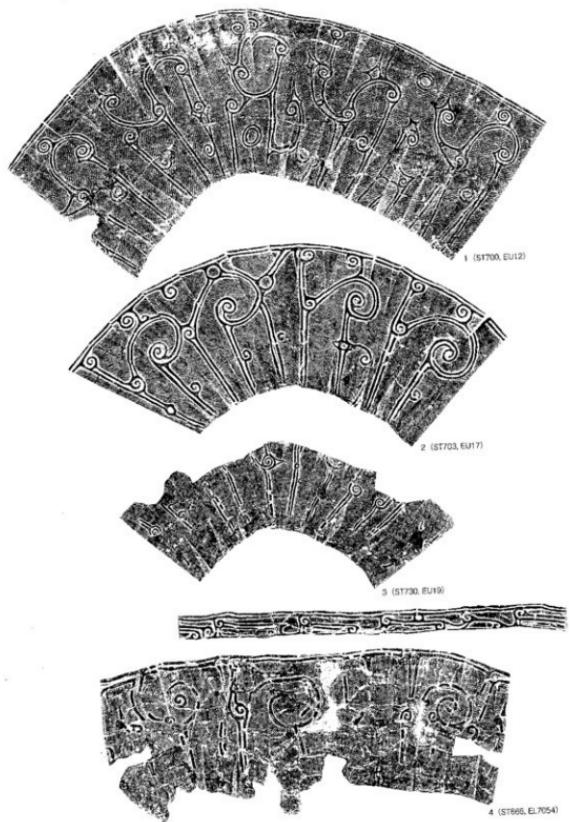
第68図 土製品実測図(3)

-78-

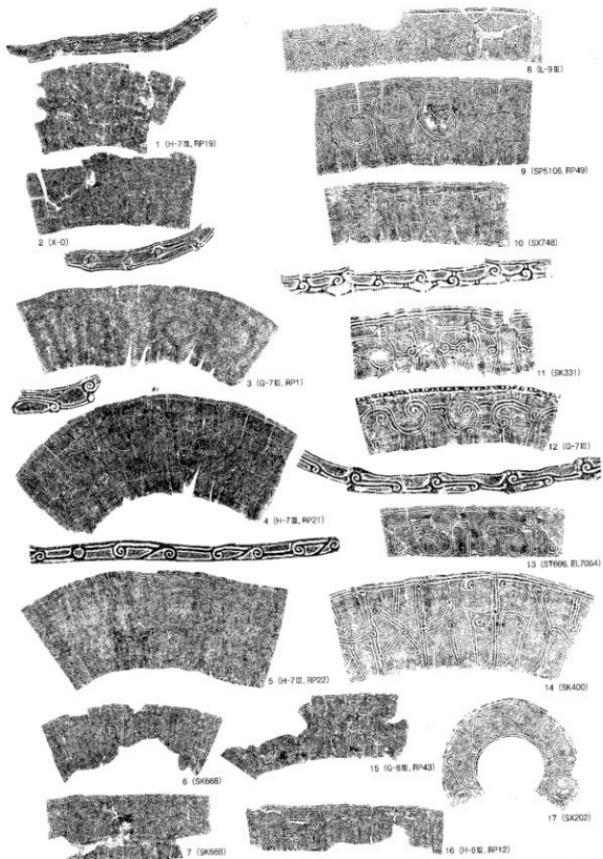


第69図 土製品実測図(4)

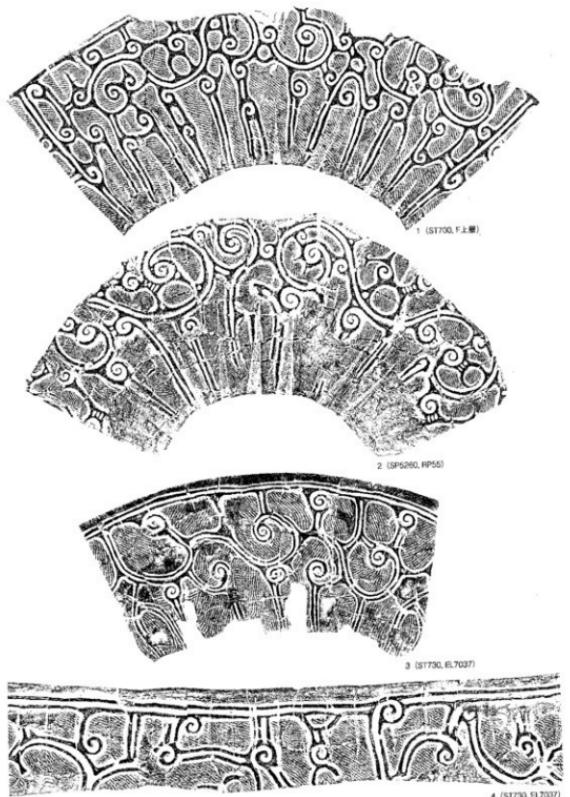
-79-



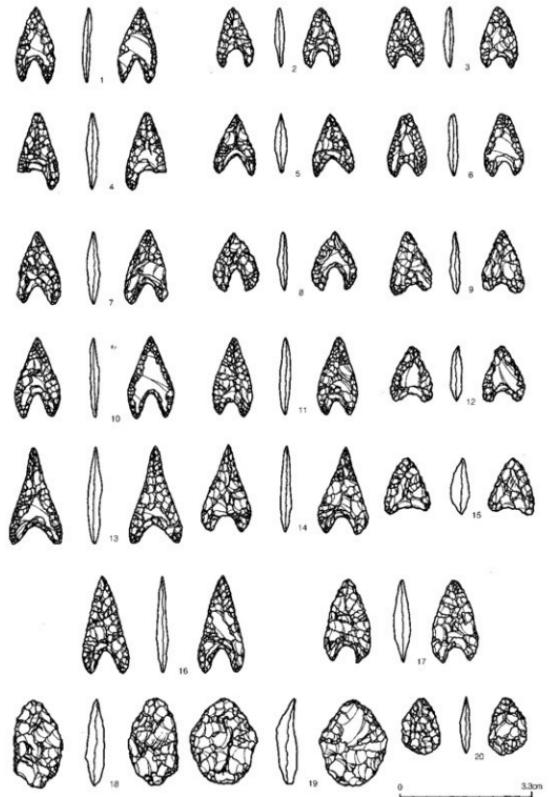
第71図 土器展開拓影図(1)



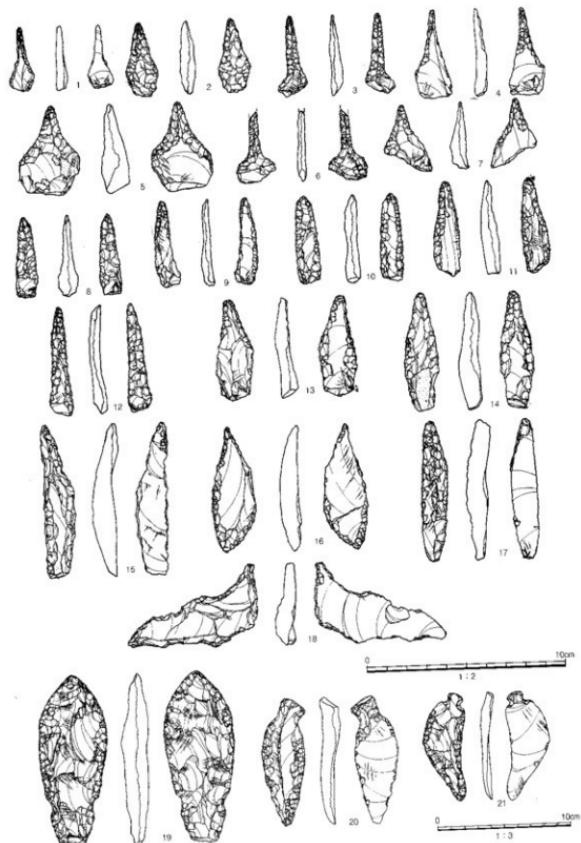
第72図 土器展開拓影図(2)



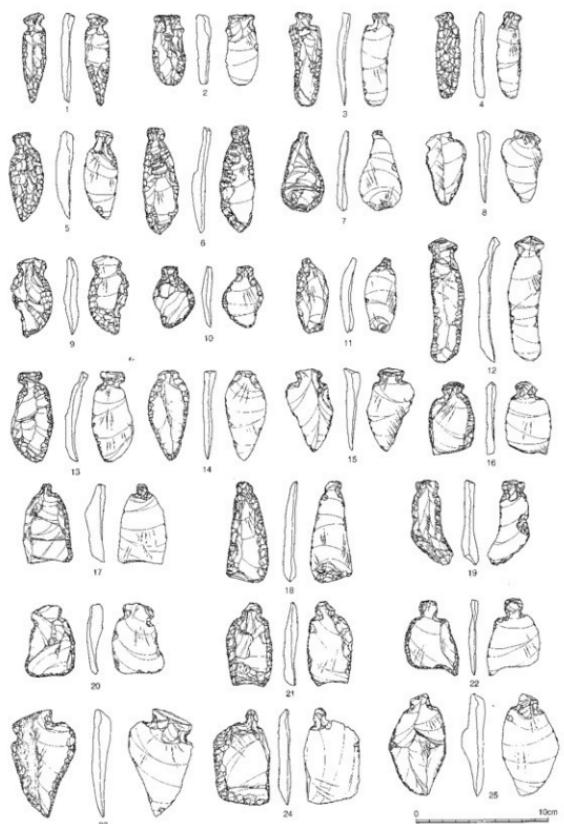
第73図 土器展開拓影図(3)



第74図 石器実測図(1)



第75図 石器実測図(2)

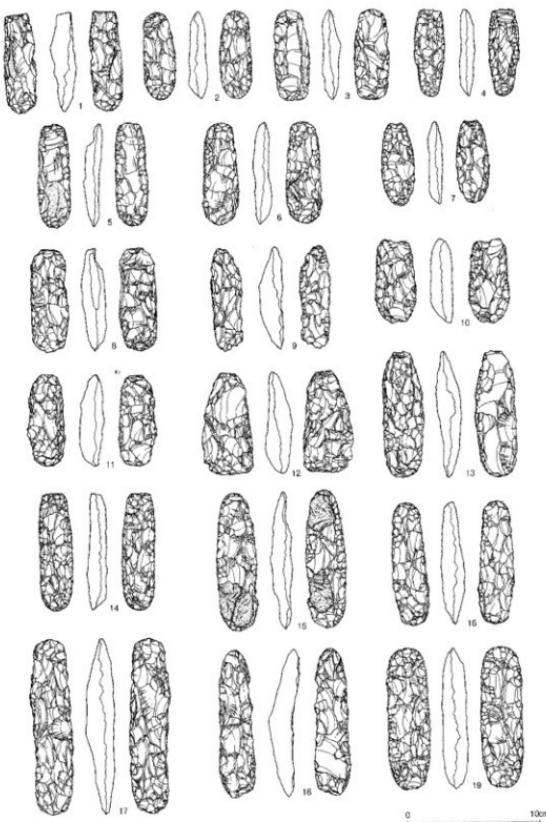


第76図 石器実測図(3)



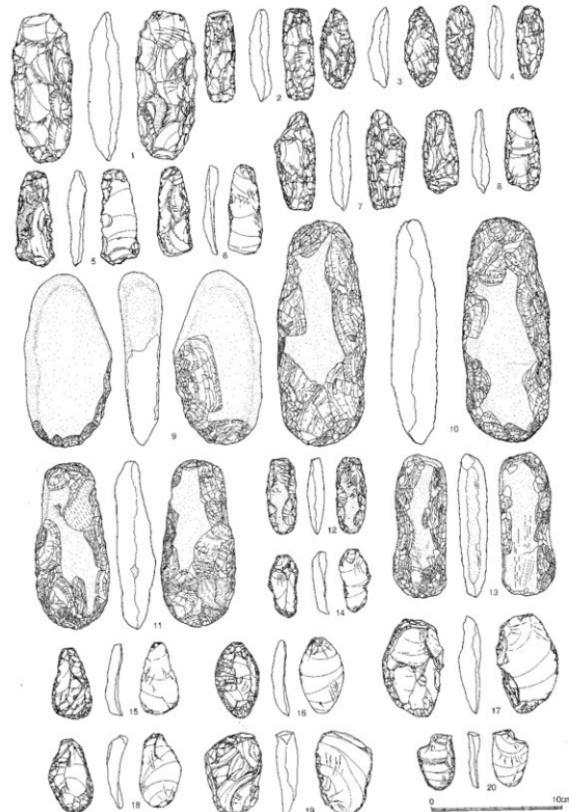
第77図 石器実測図 (4)

-90-



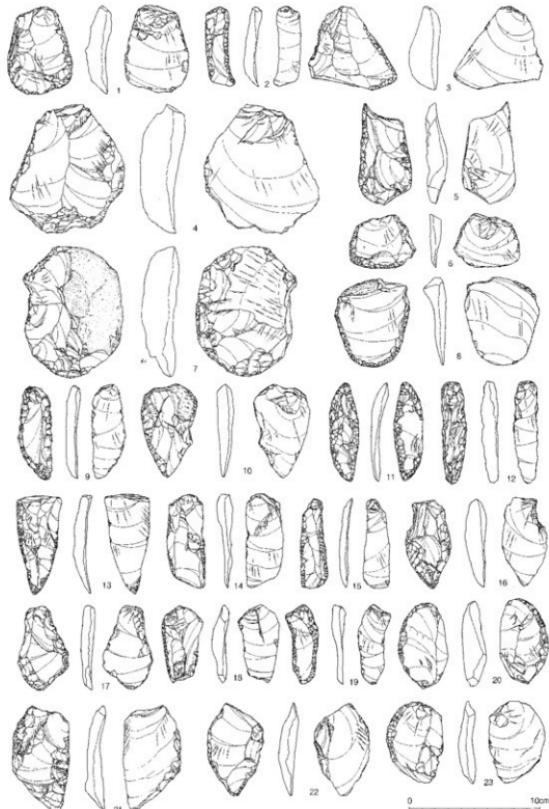
第78図 石器実測図 (5)

-91-



第79図 石器実測図 (6)

- 92 -



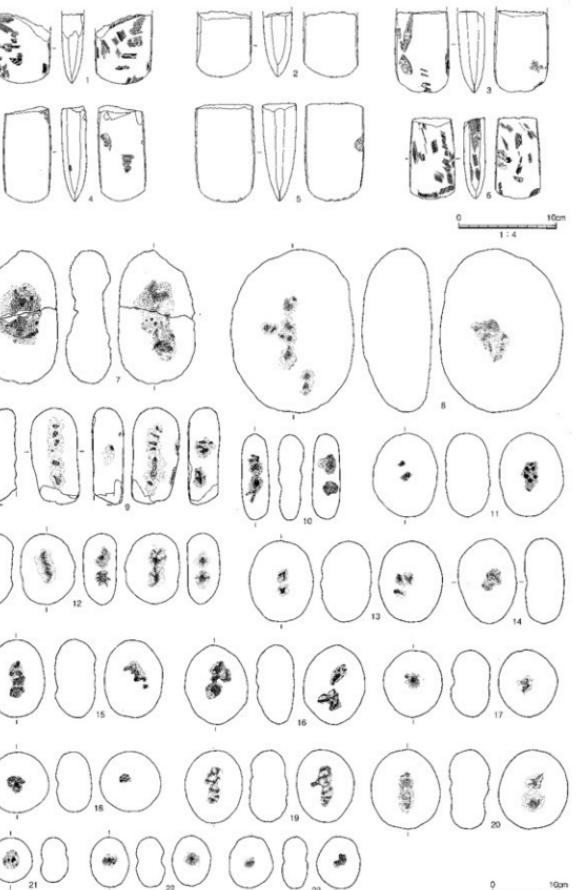
第80図 石器実測図 (7)

- 93 -



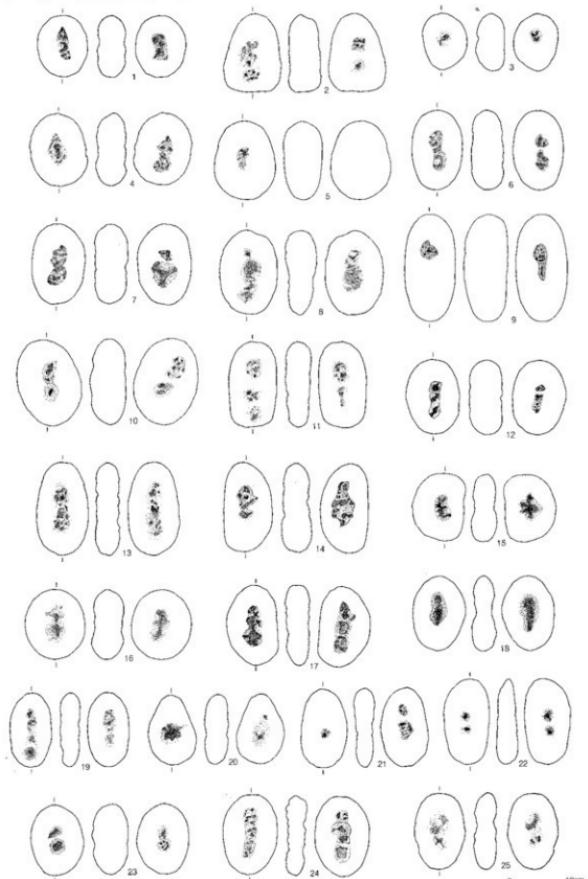
第81図 石器実測図(8)

-94-



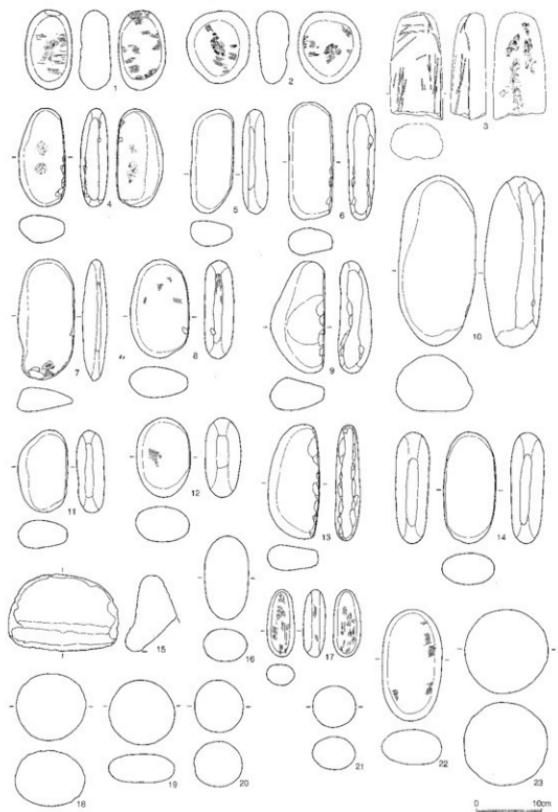
第82図 石器実測図(9)

-95-



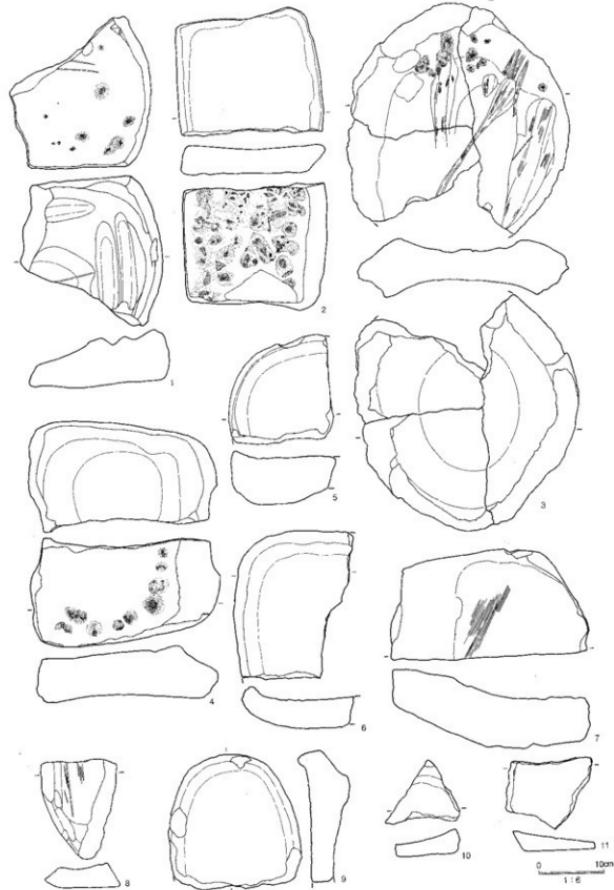
第83図 石器実測図 (10)

-96-

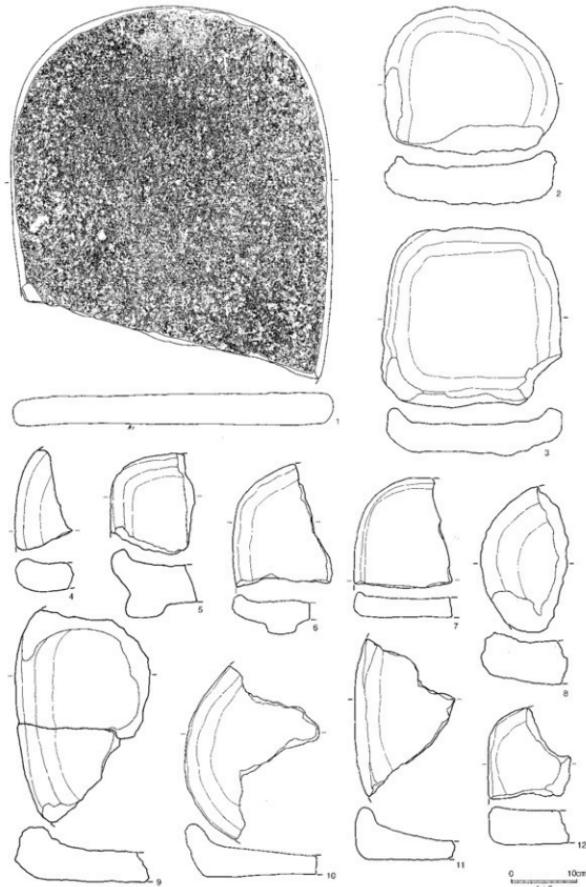


第84図 石器実測図 (11)

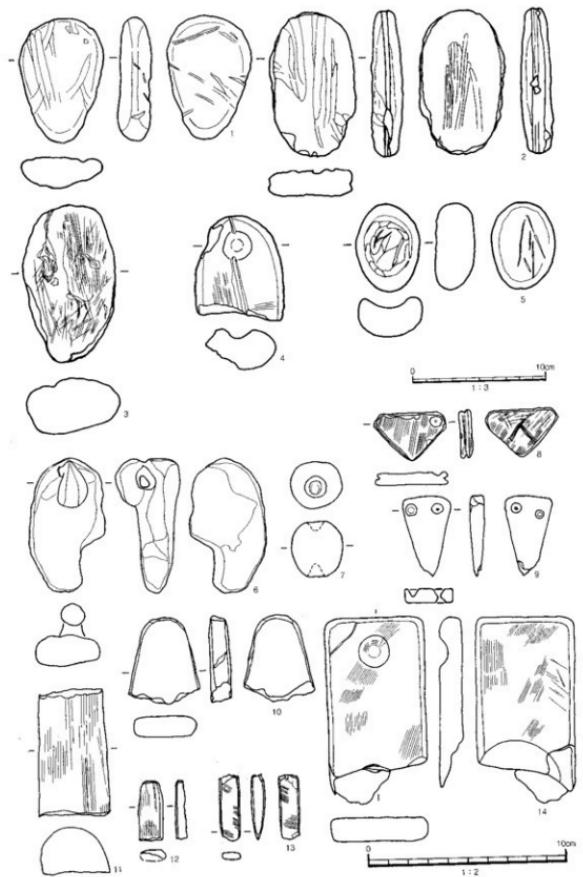
-97-



第85図 石器実測図 (12)

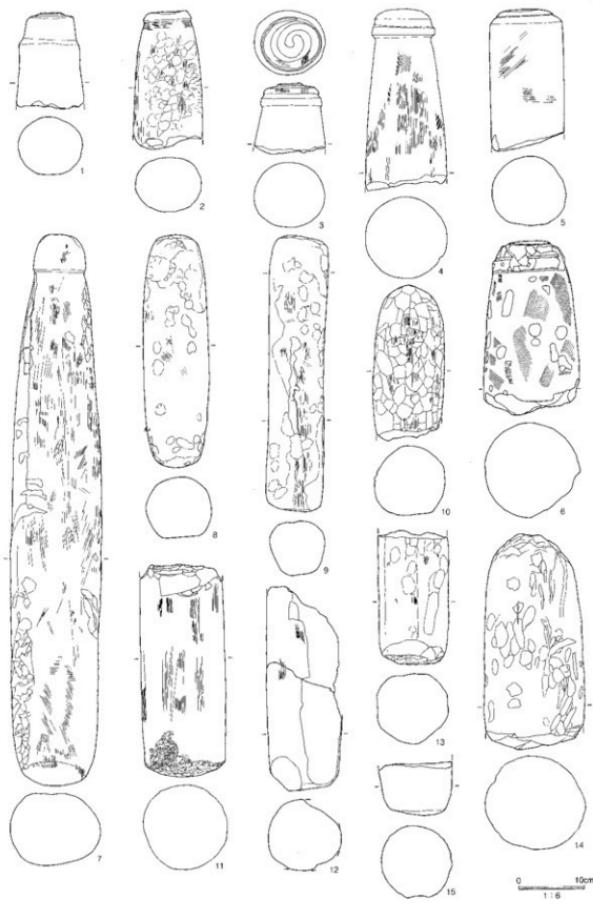


第86図 石器実測図 (13)



第87図 石器・石製品実測図

- 100 -



第88図 石製品実測図

- 101 -

VI 調査のまとめ

今回の西海洞遺跡の発掘調査は、県営圃場整備事業（富並地区）に関する緊急発掘調査である。調査は、遺跡全体の中心部分約12,000m²を対象として行い、その後に保存対象となつた区域を除いた約10,000m²について詳細な調査を実施した。

調査の結果、縄文時代中期中葉の大規模な集落跡の様相が以下のように明らかにされた。

遺構の配置は、直径15~17mの広場を中心として、墓壙群、土壙群、住居群が同心円状に三重構造（広場を一つの空間的スペースと考えれば四重構造？）となり、その広がりは、直径約140mの環状を呈する。この環状集落の形成は、一部に散見される大木8b式期の土壙を除けば、大木8b式期前半の長方形大型竪穴住居の構築にはじまり、大木8b式期後半の円形竪穴住居構築を経て、集落構造に働いていた規制が崩れ始める大木9式期前半に終末を迎えたと考えられる。

遺物は、整理箱で1,000箱を越える縄文土器、石器が出土した。なかでも特徴的なものは、多量の凹石、磨石、石皿の存在である。その平面、狩獵・漁効具である石鎌、尖頭器、石錐等の遺物は極端に少なく、大規模集落の入口を支えるために植物質食料の製粉加工に依存した生産の姿が浮かび上がる。また、約900箱出土した縄文土器と、土偶、石棒等の祭祀に係わる多量の遺物、手形土製品の存在などは、豊かな経済状態と高度な精神性を予想させるものである。北村山地区における当該期遺跡の調査例は少なく、付近では西海洞遺跡の北約1.5kmに位置する古道遺跡、中山遺跡が知られる程度である。

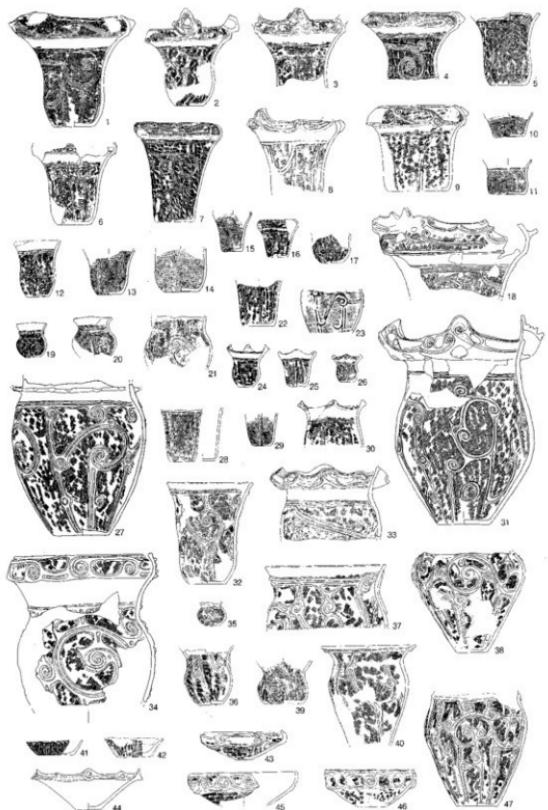
古道遺跡では、部分的ながら円弧状に推移する円形プランの竪穴住居跡が10数棟検出されたが、大形の長方形竪穴住居を主体として集落が構成される本遺跡とは明らかに様相を異にしており、集落構造や性格の違いが想定される。時期的には確定的同時共存を判断できることから、母村と分村ともいうべき関係が想起されるが実体はどうであったか。

西海洞遺跡と同じような構造もった遺跡の調査例としては、岩手県紫波郡紫波町の西田遺跡や、秋田県仙北郡協和町上ノ山II遺跡等があげられる。このような集落遺跡をどのように理解し、その性格が如何なるものであったかを解明することは当時のムラの姿や社会そのものの在り方を究明することに繋がると考えられるが、遺伝ながら本書では調査成果の概略を提示するに止まっている。今後、これら関連する遺跡例との詳細な比較検討とともに、西海洞遺跡内部における遺構の特徴やその変遷、また、出土した遺物などのより緻密な分析によって、本集落の特殊性をより具体的に解明することが課題と言える。

最後に調査にご協力いただいた多くの関係機関および炎天下の調査にもかかわらず心よく調査に従事いただいた多くの地元作業員の方々に衷心より感謝を申し上げ結語としたい。



第89図 土器集成分類図(1)



第90図 土器集成分類図 (2)



第91図 土器集成分類図 (3)

図 版



遺跡遠景（西から）



遺跡近景（北から）

図版2



A区試掘作業状況（北から）



A区東壁土層断面

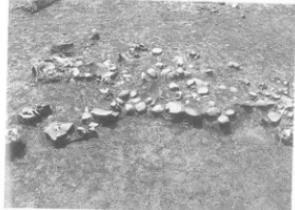


A区北壁土層断面図



G～I - 6～8区遺物出土状況（西から）

図版3



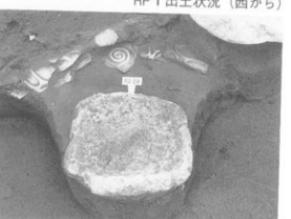
RP 8～14出土状況（北から）



RP 1 出土状況（西から）



RP24出土状況（南東から）



RQ29出土状況（西から）



A区北東半遣構検出状況（南から）



RP22出土状況（南から）

図版4



RP 7 出土状況



RP27・28出土状況（西から）



RC群出土状況（北から）

図版5



A区面整理作業状況（南から）



A区遺構検出状況（南から）

図版6



A区J-16作業状況（西から）



A区H-7・8区作業状況
(南から)



A区J・K-8・9付近作業状況
(北西から)

図版7



B区全景（南から）



B区南半遺構検出状況（北から）

図版8



B区北半近景（南から）



B区北半遺構検出状況（南から）

図版9



調査区全景（北から）

図版10



A区北東部完掘状況（北から）



A区南西部・B区南半完掘状況（東から）

図版11



B区完掘状況（西から）



A区南西部・B区全景（北西から）

図版12

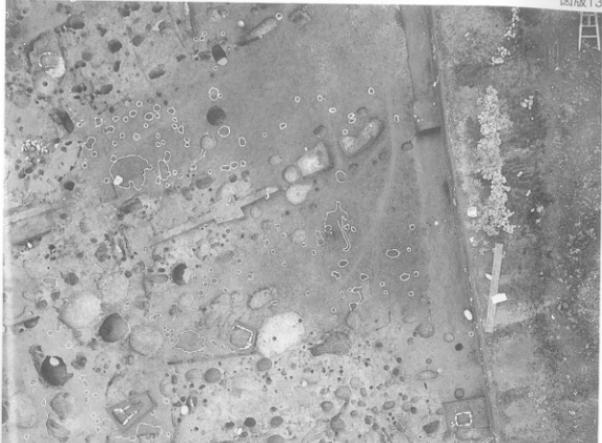


A区I～L-14～16区(ST55付近) 完掘状況(北から)

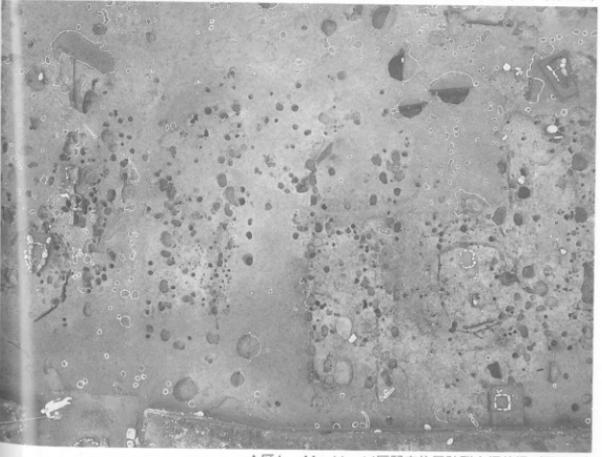


A区K～M-15・16区(ST251) 完掘状況(北から)

図版13

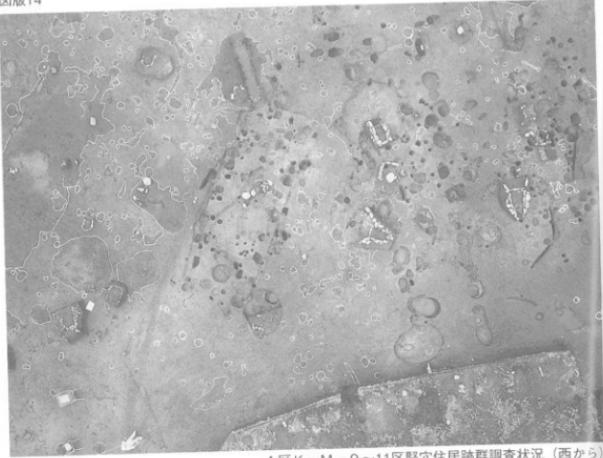


A区K～M-14・15区(ST250付近) 完掘状況(北から)

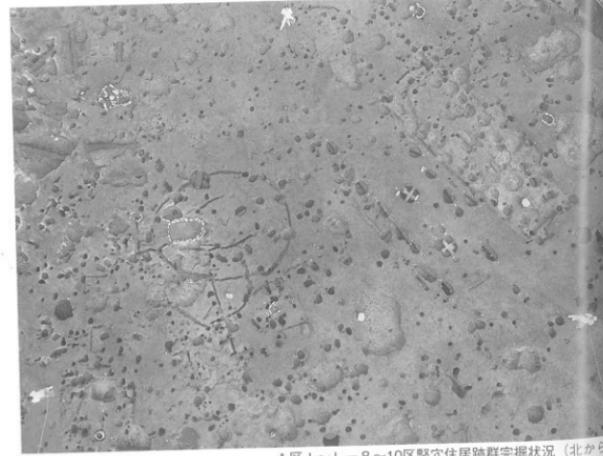


A区L・M-11～14区壁穴住居跡群完掘状況(西から)

図版14



A区K～M-9～11区整穴住居跡群調査状況（西から）

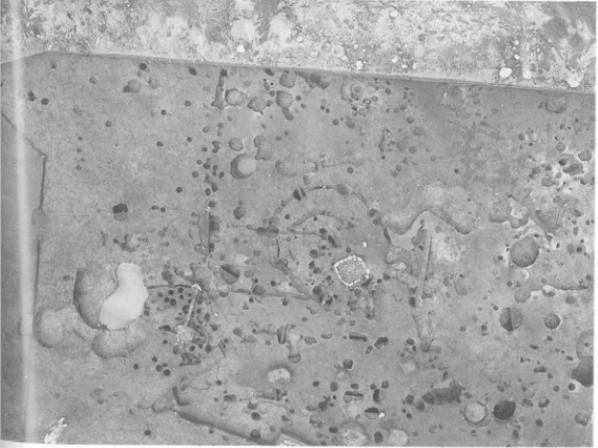


A区I～L-8～10区整穴住居跡群完掘状況（北から）

図版15



A区G～J-7～9区整穴住居跡群完掘状況（北から）



A区F・G-6～9区整穴住居跡群完掘状況（西から）

図版16



B区D・E-10~13区(ST1) 完掘状況(西から)

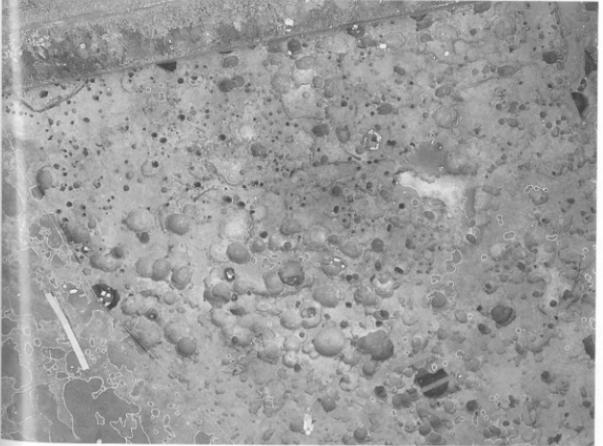


B区C～E-8～11区整穴住居跡群完掘状況(西から)

図版17



B区C～E-6～8区(ST27) 完掘状況(北から)

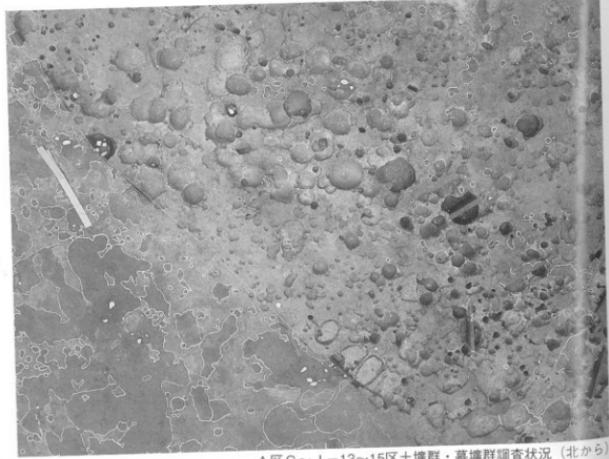


A区G～J-14～16区整穴状況跡群・土壤群完掘状況(北から)

図版18



A区 I～L-13～15区土壤群完掘状況（北から）



A区 G～J-13～15区土壤群・墓壙群調査状況（北から）

図版19

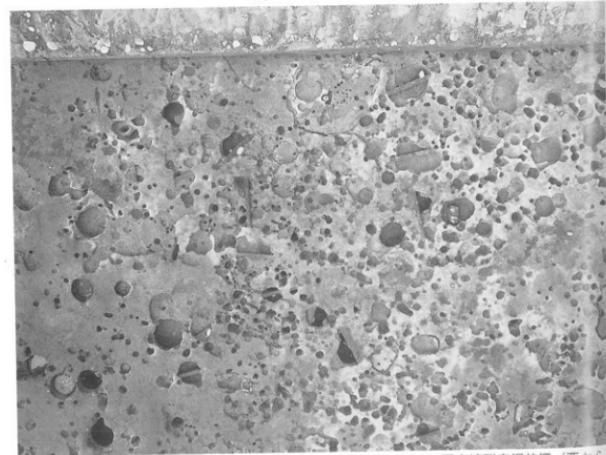
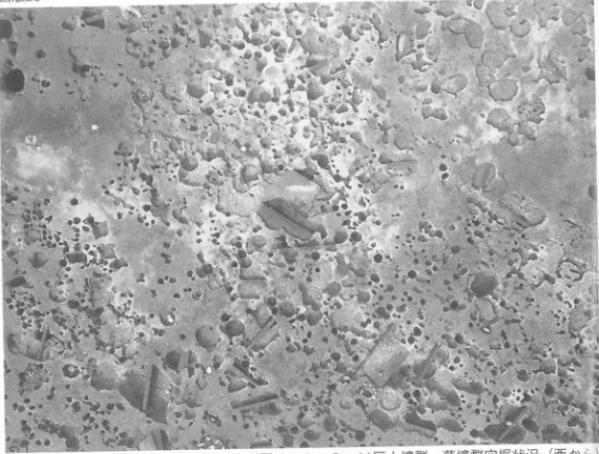


A区 F～H-13～15区土壤群・墓壙群完掘状況（西から）

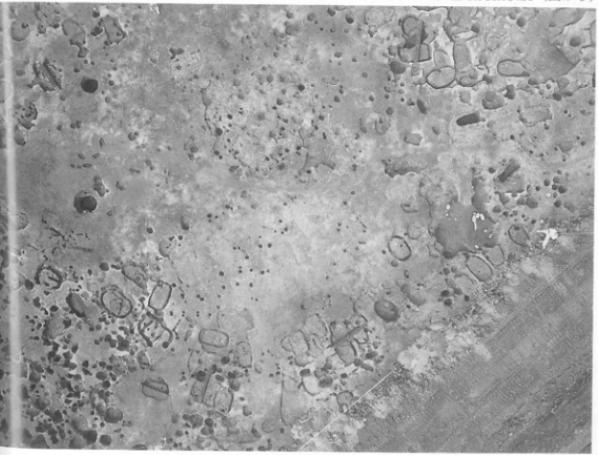


A区 I～J-11～13区土壤群完掘状況（西から）

図版20



図版21



図版22



ST49完掘状況（東から）



ST49柱穴（SK340）土層断面
(南から)



ST130完掘状況（南東から）

図版23



ST130EL7035完掘状況
(南東から)



ST50EL7001土層断面（南から）



ST50EL7001土層断面（東から）

図版24



ST55完掘状況（南から）

図版25



ST55EU 1～3出土状況（南から）



ST55EL7022完掘状況（南から）



ST55EU 2 出土状況（南から）



ST55EU 3 出土状況（南から）



ST55EU 4 出土状況（南東から）



ST55EU 5 出土状況（南から）

図版26



ST251調査状況（東から）



ST251EU8 出土状況（南から）



ST251EU9 出土状況（東から）

図版27



ST250完掘状況（西から）



ST250完掘状況（東から）



ST214完掘状況（西から）



ST214完掘状況（東から）



ST215調査状況（東から）



ST215完掘状況（西から）



EL7026検出状況（北から）



EL7020完掘状況（南から）

図版28



ST230完掘状況（西から）



ST230完掘状況（東から）



ST234完掘状況（西から）



ST234完掘状況（東から）



ST256調査状況（西から）



ST256EL7031調査状況（南西から）



EL7024調査状況（北から）



EL7024埋設土番出土状況（北から）

図版29



ST257完掘状況（西から）



ST257完掘状況（東から）



EL7034完掘状況（南西から）

図版30



ST254完掘状況（北西から）



ST254完掘状況（南東から）



RP49出土状況（北西から）

図版31



ST702調査状況（北西から）



ST702長輪ベルト土層断面（南から）



ST702調査状況（南東から）

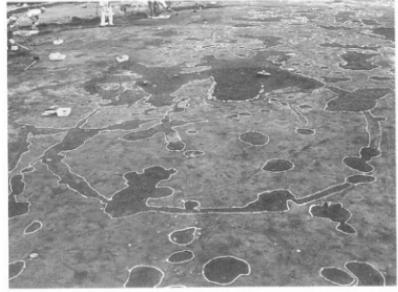


ST702完掘状況（北西から）



ST702完掘状況（南東から）

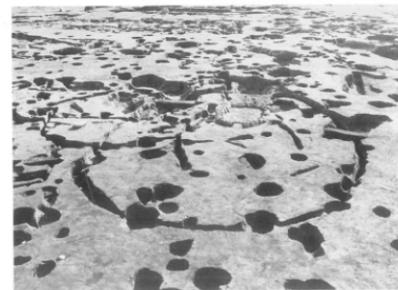
図版32



ST685検出状況（東から）



ST685完掘状況（西から）

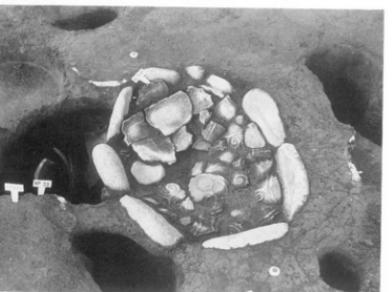


ST685完掘状況（東から）

図版33



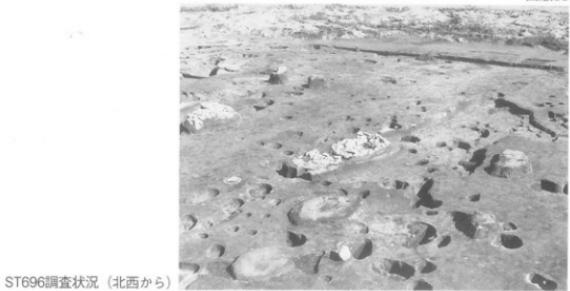
ST685EL7046完掘状況（西から）



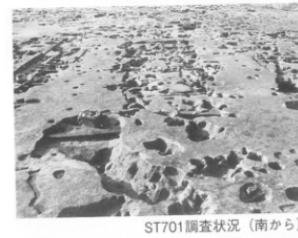
ST694EL7057調査状況
(南西から)



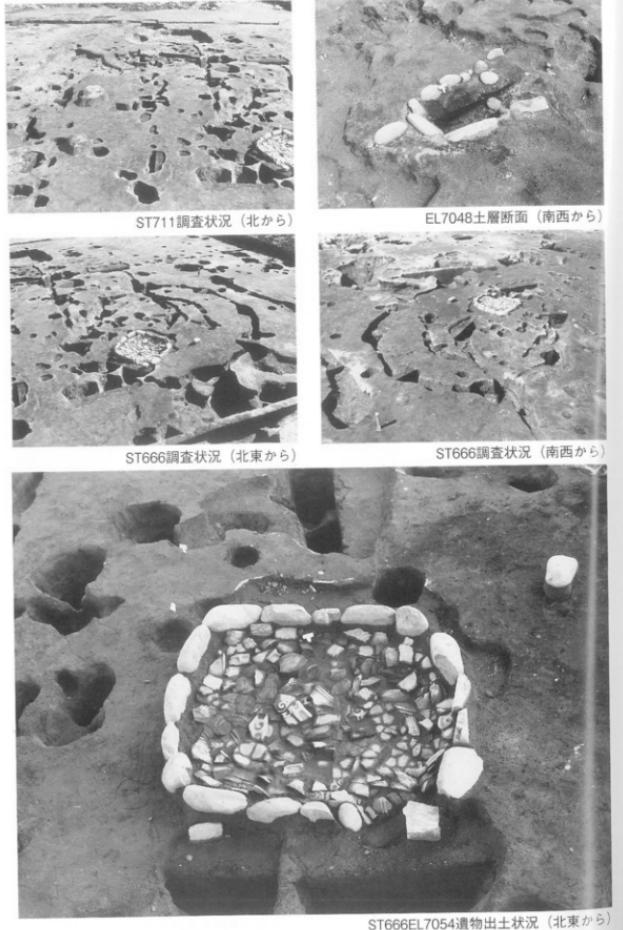
ST721完掘状況（南から）



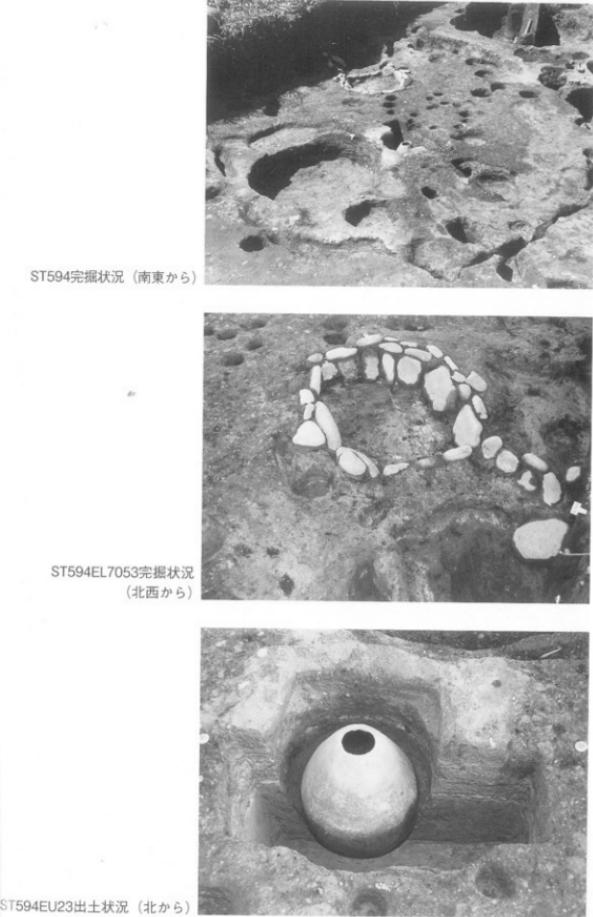
図版34



図版36



図版37



図版38



ST2完掘状況（北から）



ST2埋設土器出土状況（北東から）



ST252完掘状況（西から）



ST252完掘状況（東から）



ST252西部完掘状況（西から）



ST253完掘状況（東から）

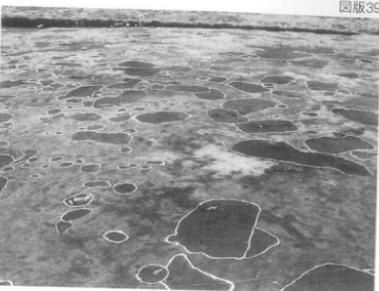


ST253完掘状況（西から）



ST290完掘状況（東から）

図版39



G・H-11区墓壙群検出状況
(東から)



G-11区墓壙群調査状況
(南東から)



図版40



F・G-11~13区墓壙群
(南東から)



F・G-12区墓壙群調査状況
(東から)



SM464土層断面 (南から)

図版41



SM779調査状況 (東から)



F・G-13区墓壙群完掘状況 (東から)



I-12・13区墓壙群調査状況 (西から)



SM473・855土層断面 (北東から)



I-12区墓壙群完掘状況 (西から)

図版42



J-12・13区土壤群調査状況
(南から)

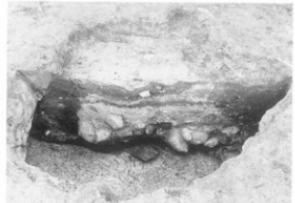


F・G-14・15土壤群調査状況
(北から)



G-10区土壤群調査状況
(北東から)

図版43



SK54土層断面（南から）



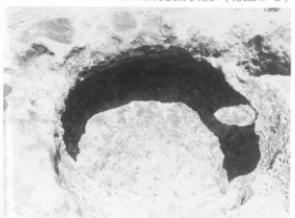
SK61RP48出土状況（北東から）



SK120完掘状況（北西から）



SK188土層断面（南から）



SK189完掘状況（南から）



SX190RP31・33出土状況（南から）



SK282土層断面（南西から）



SX283遺物出土状況（西から）

図版44



SK305土層断面（南西から）



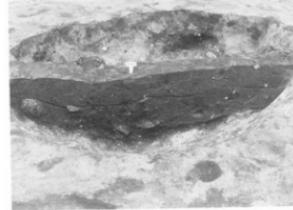
SK310土層断面（北から）



SK400土層断面（西から）



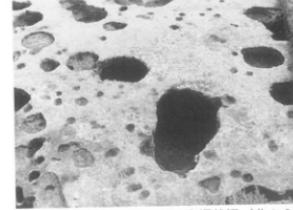
SK400遺物出土状況（北から）



SK401土層断面（東から）



SK402土層断面（北東から）



SK403・404完掘状況（北から）



SK624土層断面（南西から）



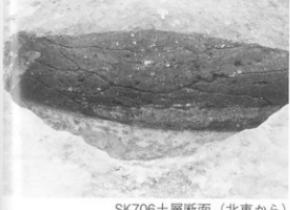
SK627土層断面（南から）



SK653土層断面（南から）



SK675土層断面（南から）



SK706土層断面（北東から）



SK644遺物出土状況（東から）



SK668土層断面（北から）



SK698土層断面（西から）



SP5018遺物出土状況（南東から）

図版45

图版46



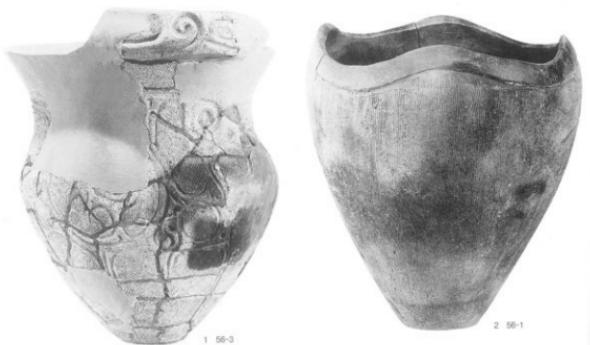
出土土器 (1)

图版47



出土土器 (2)

图版48



1 56-3

2 56-1

图版49



1 57-3-1

2 57-3-2



3 56-5

4 59-11

出土土器 (3)



3 58-3

4 60-14

出土土器 (4)



1 63-11



2 64-1



3 61-9



4 61-10

出土土器 (5)



1 64-2



2 64-5



3 60-13



4 61-8



5 60-3

出土土器 (6)



1 59-10



2 59-12

出土土器 (7)



3 57-2

出土土器 (8)

図版54



出土土器 (9)

図版55



出土土器 (10)

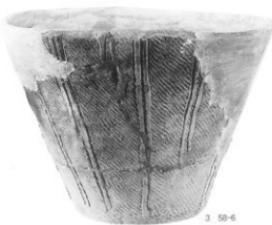
図版56



57-5



58-7



58-6



59-4



59-8



59-1

出土土器 (11)

図版57



60-5



60-9



60-1



61-11



60-10



61-6-1

出土土器 (12)

図版58



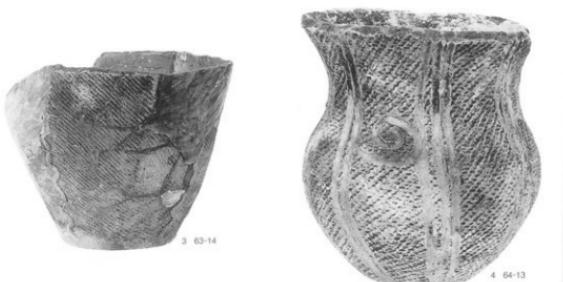
出土土器 (13)

図版59



出土土器 (14)

図版60



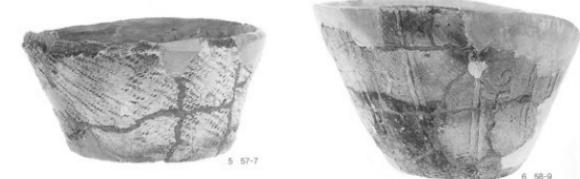
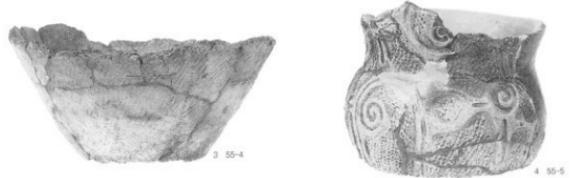
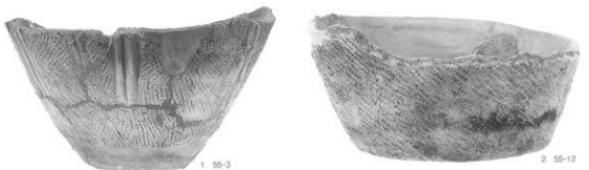
出土土器 (15)

図版61



出土土器 (16)

図版62



出土土器 (17)

図版63



出土土器 (18)

図版64



1 61-5-2

2 61-5-1

3 61-3



4 63-17-1

5 63-17-2

6 62-7



7 62-9

8 62-9

9 62-5



10 62-6

11 62-8

12 63-12

出土土器 (19)

図版65



1 63-10

2 63-16

3 63-5



4 63-9

5 60-4

6 63-8



7 61-11

8 63-4

9 64-9-1



10 64-6

11 64-10

12 61-4

出土土器 (20)



出土土器 (21)



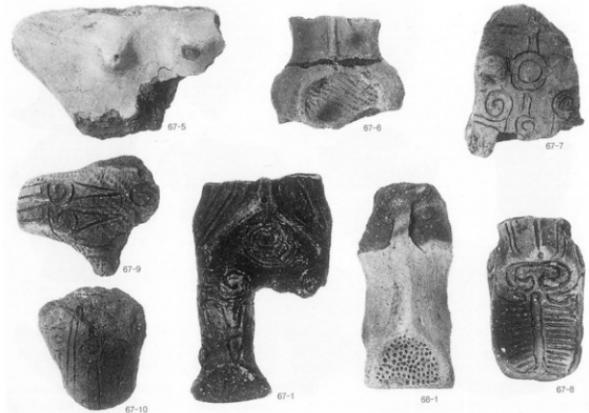
出土土器 (22)



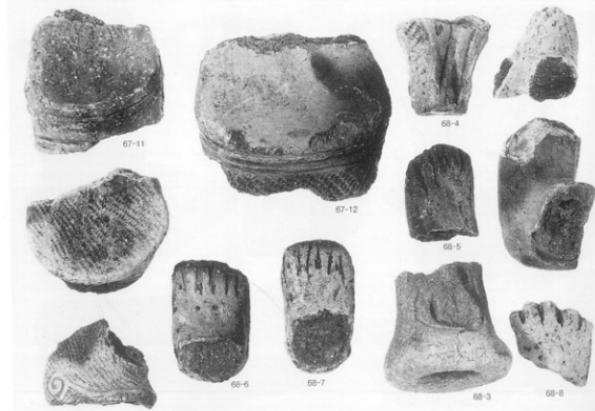
出土土器 (23)



土製品 (1)



1



2

土制品 (2)

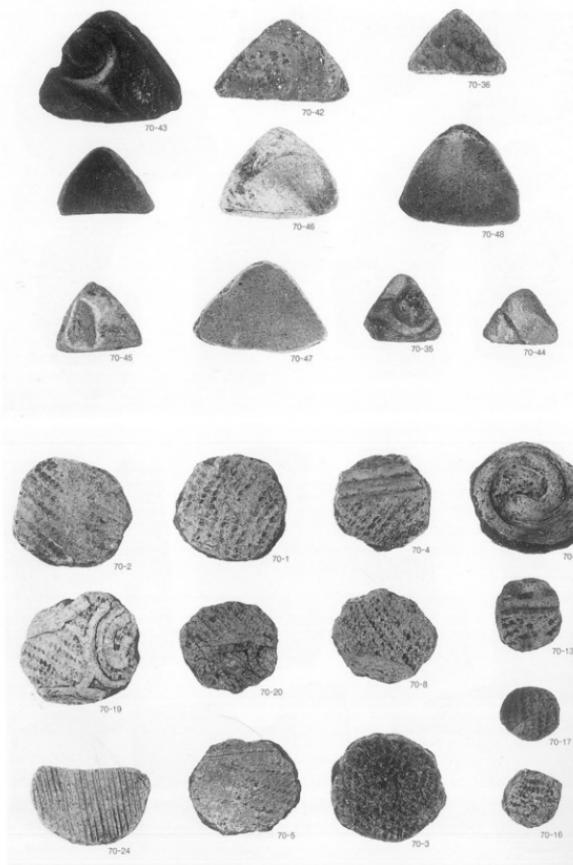


1

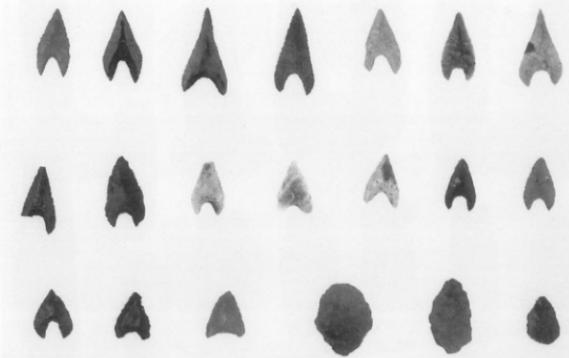


2

土制品 (3)



土製品 (4)



石器

图版74

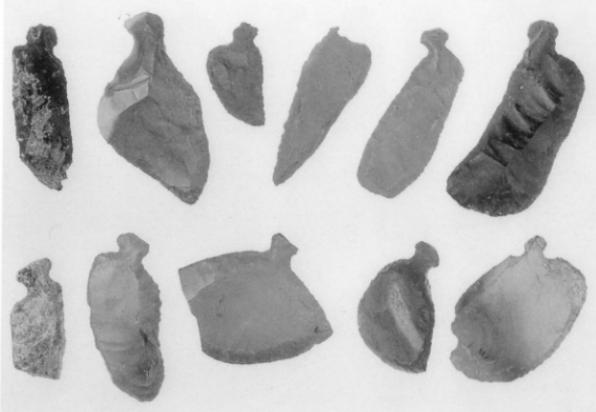


石锥·石槍

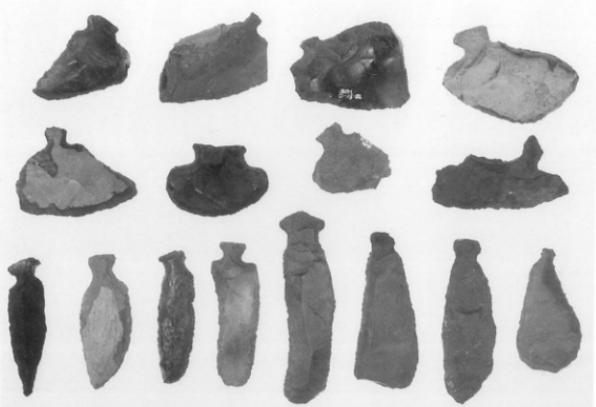


石鋤
石器(2)

图版75

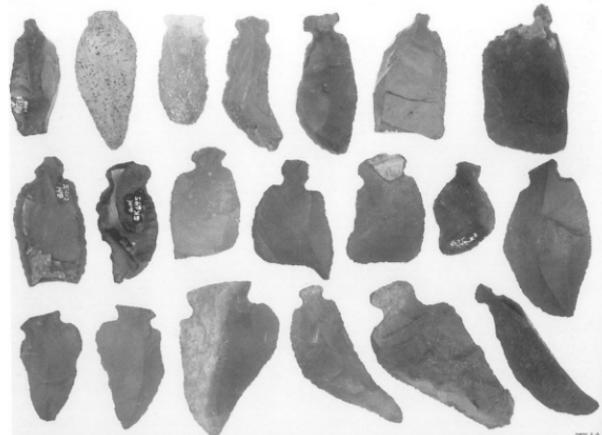


石匙



石匙
石器(3)

図版76



石槍



打製石斧
石器 (4)

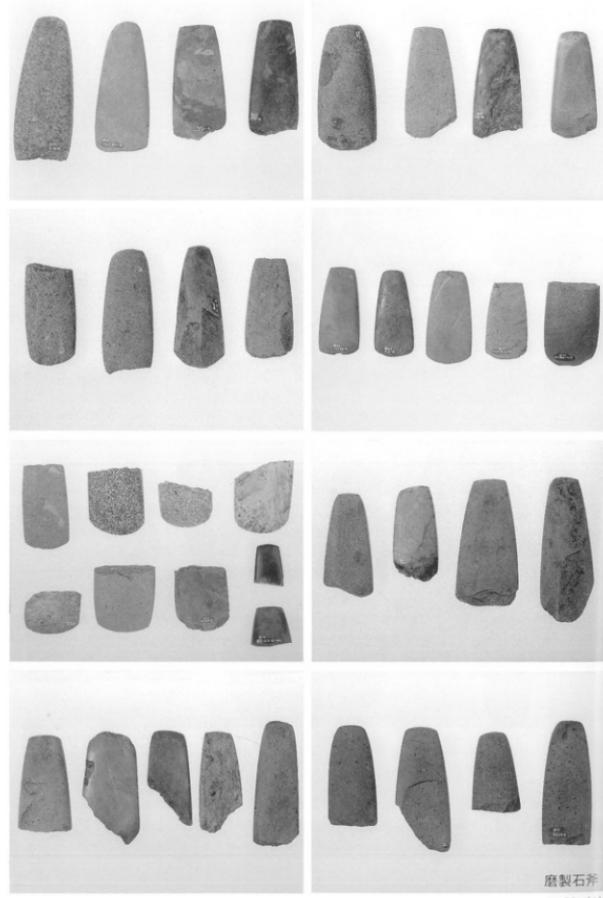
図版77



揺器



削器
石器 (5)



磨製石斧
石器 (6)



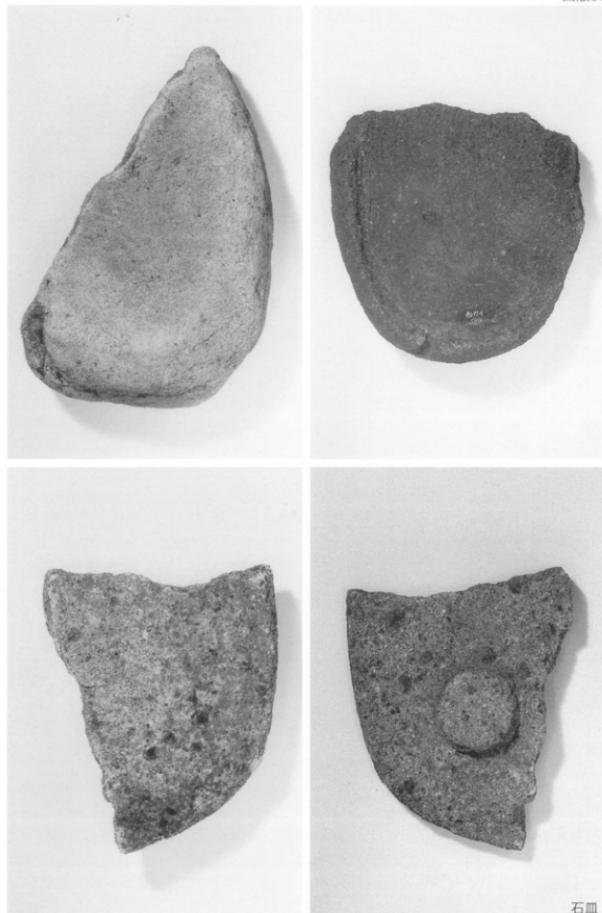
磨製石斧・凹石
石器 (7)

圖版80



磨製・石皿
石器 (8)

圖版81



石皿
石器 (9)

图版82



图版83



石皿
石器 (10)

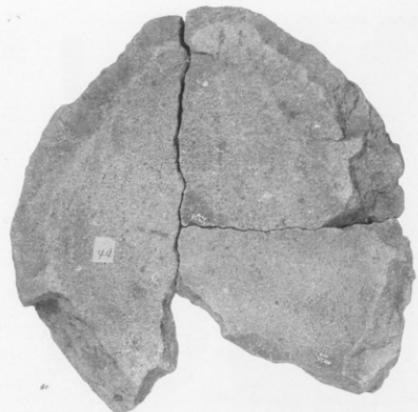


石皿
石器 (11)

図版84



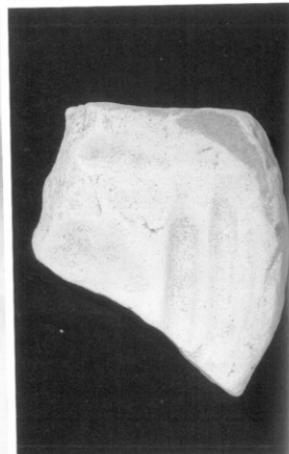
図版85



石皿



石皿



石器 (12)

鳥帽子形石製品



石器 (13)・石製品 (1)

圖版86



石製品

圖版87



石棒
石製品 (2)



石棒
石製品 (3)



石棒
石製品 (4)

山形県湖東文化財調査報告書第16集

古海城遺跡

第1次踏査調査報告書

平成3年3月15日 現地

平成3年5月23日 完成

另行 山形県教育委員会

所蔵 標式会社大塚印刷

付図 西海渕遺跡調査区全体図

